

当保存科学研究室は、写真の保存・修復に関する研究を目的に設立された、我が国最初の施設である。写真保存用包材、修復用材料などの写真影響度試験をはじめ、各種写真の保存条件、展示照明条件などの最適化を図り実施している。また、画像劣化の原因を排除するための空気質の清浄化を含め、収蔵庫や展示室内の環境を整備する保存科学全般にわたる調査研究を行っている。

## 1 今年度の研究内容

プラチナプリントの画像形成物質である白金とパラジウムの含有比率に着目している。白金とパラジウムの含有比率を変えた感光液からプラチナプリント試料を作製。露光後に形成された画像の白金とパラジウムの比率と感光液の比率との相関関係を検証するため、波長分散型蛍光X線分析装置(WDXRF)で測定した。諸外国美術館では、展示や作品情報の写真技法の欄にプラチナプリントだけではなく、プラチナ・パラジウムプリントとも表記されている。分析機器の使用で写真技法の検証を進めるとともに、作品のデータベースの精度を上げ、さらには作品保存に活用していきたいと考えている。

また写真修復士、東京藝術大学との共同研究として、着彩したゼラチン・シルバー・プリントの色材分析を試みた。当館には植木昇(1905-1992)の写真作品が資料と合わせて660点あり、そのうち着彩されている作品・資料は40点以上ある。分析には、非接触分析によるポータブルフーリエ変換赤外分光光度計(FT-IR)、ポータブルエネルギー分散型蛍光X線分析装置(EDXRF)を用い、作製したメディウム試料はFT-IRの全反射測定法(ATR)で測定した。写真技法と分析結果は日本写真学会の年次大会で、修復事例を含めた着彩の歴史的背景については日本写真芸術学会の年次大会で報告する予定である。

## 2 教育・普及活動

館内のみならず、外部からの写真保存に関する問い合わせや、写真を所蔵している専門機関からの写真の保存環境などの視察に対応することも、当研究室の重要な業務となっている。

今年度は、写真プリントの保存、劣化したフィルムの修復や保存方法、バインダーであるゼラチンが吸水、あるいは湿気のために貼りついてしまった写真プリントの分離方法、ガラス乾板の複製などの問い合わせに回答し、5件の収蔵庫内の視察に対応した。

その他、博物館学実習や日本写真学会主催の画像保存セミナー、日本写真保存センター、国立歴史民俗博物館資料保存環境検討委員会、日本写真学会などの各委員や国立文化財機構での講師を務めることで、写真保存の教育普及に努めている。

また今年度は以下の3つの講演で話す機会を得た。第115回JADS(アート・ドキュメンテーション学会)研究会では、「東京都写真美術館における写真の保存の実際」(ライブ配信、参加者66名)、第34回保存フォーラムでは「東京都写真美術館における写真の保存」(1か月間のオンライン録画配信、参加者468名)、みんなく創設50周年記念国際シンポジウム「博物館における資料保存の過去、現在、そして未来」では、「写真資料の保存の歴史と実践」(ハイブ

リット開催、2日間を通して参加者454名)について解説した。最後に記した国際シンポジウムは、令和6年度に主催者による3か月間の限定配信が予定されている。

さらに「写真保存の実務」の著者である大林賢太郎氏を講師に迎え、学芸員を対象とした「写真技法の勉強会」(参加者13名)を開催した。

## 3 収蔵作品の保存環境整備

収蔵作品の大型化や収蔵作品数の増加に伴い、本館収蔵庫に加えて外部収蔵庫(写真・映像)を使用しているため、作品は現在3か所に分散して収蔵している。作品の移動や登録作業の効率化を図りつつ、作品の点検、無酸性紙箱への入れ替え、保存箱内での作品の固定など例年通り進めた。ブックマットを使用しない作品に関しては、必要に応じて物理的に損傷を与えない構造を考えた保存箱を作製している。また新規に使用する紙や糊などの材料に対してはISO 18916 Photographic Activity Test(写真活性度試験; PAT)を実施して、合格した材料のみを使用している。

外部収蔵庫は、本館と同様に24時間温度湿度一定の環境である。また、外部収蔵庫の温度湿度は、本館でリアルタイムにモニタリングが出来るように、警報監視機能付き受信器イーサネット接続対応の無線ロガーを導入している。

本館・外部収蔵庫および展示室では、作品にとって最適な環境を維持するため、以下の内容を継続して実施している。

- ・月1回の害虫生息状況調査
- ・年2回の菌類の生息状況調査
- ・展示替えごとのパッシブインジケータ®(酢酸・アンモニア)による空気質の検査
- ・展示室や収蔵庫および書庫におけるケミカルフィルタ構成および交換時期のデータ蓄積
- ・IPM(総合的有害生物管理)に基づいた計画的な展示室および収蔵庫の除塵防黴施工

## 4 貸出先および重要文化財指定の展示に関する環境調査

作品の貸出先には、施設概要、一時保管場所および展示室の会期相当期の昨年の温湿度推移データ、そして空気質(酸、アンモニア)の調査結果の提出を依頼し、作品を取り巻く環境が整っているかどうかを確認している。

## 5 修理・修復等

棚卸、貸出や展覧会への出品、研究者の調査やマツト装備の前には作品を点検している。今年度は、作家不詳の鶏卵紙のアルバム（作品番号10104648-10104697）の製本修理、同じく作家不詳の

手彩色された鶏卵紙（作品番号10114540）の破れの修理を実施した。これらの作品には貸出依頼があり、美術輸送を伴う貸出には耐えられないと判断して、外部委託によって修理したものである。

### ○作家不詳の鶏卵紙のアルバム（作品番号10104648-10104697）



背表紙の本体からのはがれ、裏表紙と背表紙の間の分離、おもて表紙と背表紙の間の一部分離、背表紙革の天の部分のはがれ、及び欠損。ノド部分の緩み、キャラコの亀裂など。



元の背革を戻す際の土台となる新たな革の作製



革ノド貼り込み前



背貼り紙の除去



元の背革の上部と裏打ち用和紙



花布付け



修復後

### ○作家不詳（作品番号10114540）



左上に鶏卵紙と台紙が約7.5cmに渡り破れがあり、右下角の台紙が一部欠損していた。



破れ処置中



欠損補強



修復後

写真・映像に関する専門図書室として、国内外で出版された写真集を中心に、評論、写真史・映像史、技法書、一般美術書、展覧会カタログ、専門雑誌、美術館ニュース、チラシなどの収集、整理、保存を行い、一般に公開している。美術館活動を支援するための調査・研究に必要な資料・情報の提供も行なっている。

○資料収集について

国内外で出版される写真・映像に関する資料の最新情報を入手し、寄贈や購入などにより所蔵資料の充実を図っている。令和5年度時点での蔵書数は約12.4万冊（図書5.7万冊・雑誌6.7万冊）である。

○資料整理について

全国の大学図書館、専門図書館等が使用している国立情報学研究所 (NII) の総合目録データベースNACSIS-CATへのデータの登録を行なっている。このNACSIS-CATのルールに準拠し作成した詳細な目録データは、当館の蔵書検索サイト (<https://library.topmuseum.jp/>) にも公開している。また、このほかに全国の美術図書館 (14館) の蔵書を横断的に検索可能なシステムALC Search (<https://alc.opac.jp/>) や国立国会図書館サーチ (<https://ndlsearch.ndl.go.jp/>) からも当館の所蔵を確認できるようになっている。

○資料保存について

当館では、資料を写真作品と同等の位置づけで取り扱っている。写真はプリントの形で公表されるだけでなく、出版物の形で公表されることが多いことから、当室では所蔵する資料を作品と同様に一次資料として取り扱い、展覧会の展示にも使用できるよう保存・管理・修復に細心の注意をはらっている。



閲覧室

1. 収集

所蔵資料数

	購入	寄贈	合計
和書	10,894	28,435	39,329
洋書	9,668	7,984	17,652
合計	20,562	36,419	56,981

	購入	寄贈	合計
和雑誌	17,696	30,821	48,517
洋雑誌	15,283	2,811	18,094
合計	32,979	33,632	66,611

タイトル数：和雑誌1,533誌 洋雑誌393誌 計1,926誌

2. 整理

令和5年度登録冊数

	購入	寄贈	合計
和書	88	950	1,038
洋書	59	299	358
合計	147	1,249	1,396

	購入	寄贈	合計
和雑誌	163	393	556
洋雑誌	158	6	164
合計	321	399	720

3. 特別整理

令和6年1月22日（月）から1月30日（火）の計9日間に蔵書点検を行なった。対象は図書約27,128冊である。

4. 保存

書庫内の温湿度管理や中性紙箱・封筒等を活用することで、資料の長期的な保存に努めている。

破損等のある資料については、原形の尊重に留意した修復（外部委託）を行った（令和5年度108点）。

寄贈資料の中でカビ等による汚染が懸念される資料に対しては、薬剤を使用せず、防カビ・殺虫効果のある無酸素パックによる処置後、ドライクリーニングを行った。

5. サービス業務

(1) 閲覧サービス

図書室内での利用に限定しており、館外貸出は行っていない。書庫内の資料については、閲覧室に設置したコンピューター2台にて検索後、請求により閲覧可能である。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、令和2年度から2時間ごとの入れ替え制を実施していたが、5月に当該感染症が5類に引き下げられたことを受け、この制度は終了した。これにより、利用時間はコロナ禍以前の通常の状態に戻った。

(2) レファレンスサービス

資料や所蔵状況についての問い合わせに、対面のほか、電話、文書でも応じた。

これらの質問についての回答のうち、今後のサービスに役立つものはレファレンス共同データベースに登録し、一部を一般に公開している。

(3) 複写サービス

当室所蔵の資料について、著作権の範囲内で有料にて複写サービスを行なった。

(4) 展覧会関連図書リストの配布

展覧会の開催期間に合わせて、「展覧会関連図書コーナー」を設けた。同時に、図書室内と展覧会場の入口で図書リストを配布し、当館の公式ホームページでもPDF形式で公開した。

### (5) 展覧会関連エフェメラ資料の展示

展覧会および出品作家に関連したエフェメラ資料（チラシ、ハガキなど）の閲覧室での展示を行った。

展覧会ごとの関連図書リストへの掲載冊数およびエフェメラ資料展示数は次のとおりである。

展覧会名	関連図書リスト掲載冊数	エフェメラ資料展示数
TOPコレクション セレンディビティ 日常のなかの予期せぬ素敵な発見	53冊	9点
田沼武能 人間讃歌	54冊	6点
本橋成一とロベール・ドアノー 交差する物語	48冊	8点
TOPコレクション 何が見える？ 「覗き見る」まなごしの系譜	42冊	12点
風景論以後	58冊	5点
即興 ホンマタカン	41冊	5点
見るまゝに跳べ 日本の新進作家 vol.20	37冊	11点
恵比寿映像祭2024 月へ行く30の方法	50冊	7点
恵比寿映像祭2024 コミッションプロジェクト	18冊	6点
記憶：リメンブランス —現代写真・映像の表現から	38冊	7点
没後50年 木村伊兵衛 写真に生きる	45冊	7点



展覧会関連エフェメラの展示



選書サービス「どのジャンルがみたいかな」

### (6) 選書サービス

7月までは昨年度に続いて「世界旅行」をテーマに、司書が選書した写真集を提供する選書サービスを行った。8月からはテーマを「どのジャンルがみたいかな」に変更し、「どうぶつ」、「ふしぎ」など5つのカテゴリに基づいて選書した写真集を提供した。今回のテーマでは主に小学生以下の子どもの対象としているが、大人の利用も歓迎している。

### (7) 他館との連携

- ・レファレンス協同データベースへの参加。
- ・ALC Searchへの参加。
- ・ALC参加館間でのカタログ交換の実施。
- ・国立国会図書館サーチへの参加。
- ・当館展覧会カタログの国立国会図書館への納本。
- ・フォトコンテスト情報・他館の写真展情報の利用者への提供。



展覧会関連図書コーナー

## 6. 令和5年度利用統計

	開室日数	入室者数	出納冊数	レファレンス件数	コピー枚数	Web版OPAC訪問数
4月	26	2,032	953	81	586	3,103
5月	27	2,054	1,046	84	1,022	4,335
6月	26	2,040	1,020	84	998	4,727
7月	26	2,211	1,369	65	1,162	4,608
8月	27	2,187	1,384	62	911	3,623
9月	26	1,931	974	63	589	3,052
10月	26	2,177	1,100	49	811	3,702
11月	26	1,993	1,134	56	1,072	4,577
12月	24	1,796	1,130	45	1,170	3,990
1月	15	1,169	706	33	579	3,352
2月	24	1,984	1,160	49	881	3,249
3月	27	2,124	976	80	1,079	3,880
合計	300	23,698	12,952	751	10,860	46,198
一日平均	—	79	43	3	36	—

・美術図書館横断検索（ALC OPAC）検索回数 令和5年度合計95,008回  
 ・入室数はBDSによるカウントとしている

## 7. その他

(1) 展覧会への出品のための貸出は3件11点（図書雑誌資料：11冊）であった。

・「田沼武能 人間賛歌」

会場：当館 会期：令和5年6月2日～7月30日

・「風景論以後」

会場：当館 会期：令和5年8月11日～11月5日

・「私たちのエコロジー：地球という惑星を生きるために」

会場：森美術館 会期：令和5年10月18日～令和6年3月31日

(2) 図書室への見学は15件、取材は4件であった。

(3) 職場体験の一環として中学生4名に対し図書室業務の説明と体験を行った。

(4) スクールプログラムに対応し、高校生20人に対し写真集を紹介した。

(5) twitter・Xにて下記の告知を行った。

・展覧会関連図書の告知（8件）

・システム関連の告知（2件）

・その他（3件）

(6) 第25回図書館総合展の専門図書館紹介企画「あなたも使える専門図書館」にパネルとオンライン展示にて参加した。（パネルは、パシフィコ横浜会場・サテライト会場に展示）

(7) 従来の図書室ガイドとは別に、イラストとわかりやすい説明文を用いた「やさしい図書室ガイド」を配布した。

(8) 来館者サービスのため、ロービジョンの方や見えにくい方にも利用していただけるよう、拡大読書器2台とルーペ3台を導入した。



やさしい図書室ガイド



拡大読書器

### 恵比寿ガーデンプレイスとの連携事業

#### 1 趣旨

写真映像の芸術振興にとどまらず、地域とともにある美術館やまちづくりなどの観点から、「恵比寿ガーデンプレイス」と連携した事業を実施した。美術館は、今年度新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて来館者回復やライトユーザーや若年層の掘り起こしが必要なことから地域の街のイベントに積極的に参加や協力を行った。よりいっそう美術館に慣れ親しんでもらうことが出来た。

#### 2 事業名

##### ●渋谷おとなりサンデー@恵比寿ガーデンプレイス

概要：1999年、フランスのパリで隣人の孤独死に心を痛めた青年の行動によって始まった「隣人祭」を踏まえて始まった渋谷区主催の「おとなりサンデー」が恵比寿地区で開催された。

今回は、「地域で子どもを見守る・育てる」をテーマに、恵比寿南一公園や景丘の家、サッポロ広場、東京都写真美術館でもコラボ企画を開催した。

日時：令和5年6月4日（日）

会場：東京都写真美術館1階スタジオ

プログラム名：手作りアニメーション体験

おどろき盤を使って、オリジナルのアニメーション作品を制作しよう！

##### ●恵比寿文化祭2023

令和5年9月30日（土）、10月1日（日）に開催された恵比寿ガーデンプレイスが主催する街の文化祭「恵比寿文化祭2023」に新たな顧客開拓を目指し、シールラリー及び以下のプログラムで参加した。

日時：令和5年10月1日（日）

会場：東京都写真美術館3階展示室：TOPコレクション 何が見える？「覗（のぞ）き見る」まなざしの系譜

東京都写真美術館地下1階展示室：風景論以後

プログラム名：写真と映像の展覧会を見に行こう！（都民の日、無料デー）

##### ●エビスハロウィン2023@恵比寿ガーデンプレイス

近隣の保育園・幼稚園に通う子供たちを対象とした、仮装しながら恵比寿ガーデンプレイス内の施設めぐりを行い、フォトスポットやアイテムを配布する催し「エビスハロウィン2023」が行われた。東京都写真美術館も地域の子供たちに美術館に慣れ親しんでもらうことを目的として、1階ロビーでアイテム配布を行った。

日時：令和5年10月29日（日）

会場：東京都写真美術館1階ロビー周辺

協力内容：東京都写真美術館のキャラクター「nya-eyes」の消しゴムとチラシ配布

## 1 趣旨

恵比寿映像祭が国際発信とともに地域に根差す双方向のアートフェスティバルとして形成されることを視野に、恵比寿地域のアートの担い手によるテーマ接続型の連携プログラムを実施した。同企画は、映像文化の楽しさに出会う事業として、アートを楽しむ街巡りシールラリーやライトユーザー向けプログラムとして現在まで継続している。

## 2 事業名

地域連携プログラム

## 3 コラボレーション及び連携組織

シビック・クリエイティブ・ベース東京 (CCBT)

在日スイス大使館

ローザンヌ美術大学 (ECAL)

サッポロ不動産開発株式会社

株式会社The Chain Museum (ArtSticker)

地域連携プログラム参加施設 \*詳細4のとおり

## 4 地域連携プログラム参加施設

13プログラム14施設

公益財団法人日仏会館、YEBISU GARDEN CINEMA、MA2Gallery、工房親、MuCuL、NADiff a/p/a/r/t、MEM、AL (企画:TRAUMARIS)、ART FRONT GALLERY、N&A Art SITE、POETICSCAPE、景丘の家、Koma gallery

## 5 実施プログラム

ア) 日仏会館 (オンライン) | 映像と講演 ここだけのフランス映画 VIII アルノー・デプレシャン監督『いつわり』

令和6年2月9日 (金) オンライン映画視聴 0:00-23:59

講演 20:00-20:30 [講師: 杉原賢彦 (映画批評/目白大学)]

イ) YEBISU GARDEN CINEMA | カラフルな魔女～角野栄子の物語が生まれる暮らし～

令和6年1月26日 (金)～

ウ) MA2Gallery | 川内倫子 個展

令和6年2月2日 (金)～2月24日 (土)



エ) 工房親 | The Whole to Express.

日時: 令和6年2月3日 (土)～2月25日 (日)

オ) MuCuL | 「月の海へ」 佐藤慶子 映像個展

日時: 令和6年2月2日 (金)～2月18日 (日)

カ) NADiff a/p/a/r/t | 原田裕規『とるにたらない美術——ラッセン、心霊写真、レンダリング・ポルノ』刊行記念ブックフェア  
令和6年2月2日 (金)～2月18日 (日)

キ) MEM | 石原友明展「サックード残像」

令和6年2月1日 (木)～2月29日 (木)



ク) AL (企画: TRAUMARIS) 彼方の世界: 篠田太郎 狩野哲郎 大船真言 SPREAD 赤塚不二夫&赤塚りえ子

令和6年2月1日 (木)～2月11日 (日)

ケ) ART FRONT GALLERY | 釘町彰: From the Land of Men

日時: 令和6年2月2日 (金)～2月25日 (日)

コ) N&A Art SITE | ヴィム・ヴェンダースの透明なまなざし

令和6年2月1日 (木)～3月2日 (土)



サ) POETIC SCAPE | 野村浩 Painter

令和6年1月20日 (土)～2月18日 (日)

シ) 景丘の家 | Photonic Life / 藤本直明

令和6年2月2日 (金)～2月29日 (木)

ス) Koma gallery | 藤林彩名写真展「狸のいる風景」

令和6年2月9日 (金)～2月18日 (日)

## 5 地域連携プログラム拡張版上映プログラム

「ヴィム・ヴェンダース『夢の涯てまでも ディレクターズカット 4Kレストア版』上映

恵比寿文化祭2023の参加施設 N&A Art SITEにおいて「ヴィム・ヴェンダースの透明なまなざし」展が開催されているのを機に、ここで取り上げられている『夢の涯てまでも』について、ディレクターズカット 4Kレストア版 (5時間) 上映を連携して行った。ヴィム・ヴェンダースが先駆的に行った絵画的な映像表現を映画作品のなかで観覧することが出来る機会とした。

事業名: 恵比寿映像祭地域連携拡張版上映プログラム

日時: 令和6年2月20日 (火)～3月1日 (金)、3月20日 (水・祝)

会場: 東京都写真美術館1階ホール

上映作品：ヴィム・ヴェンダース『夢の涯てまでも ディレクターズカット 4Kレストア版』

#### 関連イベント

トークイベント ヴェンダースがみた「過去から未来へのまなざし」  
『夢の涯てまでも』から『PERFECTDAYS』

令和6年2月25日（日）（12:50の回上映前）11:00～12:00

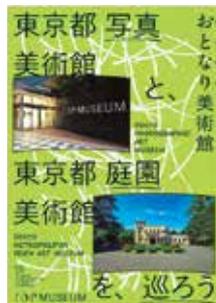
登壇者：御影雅良（『夢の涯てまでも』アソシエイト・プロデューサー）  
高崎卓馬（『PERFECTDAYS』企画・共同脚本・プロデューサー）

モデレーター：墨屋宏明（『ヴィム・ヴェンダースの透明なまなざし』  
展キュレーター）



### 新たな鑑賞体験事業

当館の展覧会と、隣接する美術館（東京都庭園美術館）の親和性の高い展覧会を連動して発信することにより、春の美術館めぐりを促進し、新たな鑑賞体験の機会を創出した。また、隣接駅（目黒駅）からの誘因を図った。配布物はA4チラシ（5,000枚）。



## 文化施設連携事業

### 1 趣旨

渋谷を中心としたJR3駅、渋谷、恵比寿、原宿を結ぶエリアには美術館、博物館、コンサートホール、テーマパーク、図書館など数多くの文化施設があり、それぞれの特徴を活かしながら多様な文化事業を展開している。そこで、各施設の利用者の利便性の向上とこのエリアの文化をエリア内外に浸透させ、社会に活力を与える一助になることを目的に、渋谷周辺の文化施設で構成する「あ・ら・かるチャー運営協議会」を、平成17年4月20日に設置した。協議会に加盟する文化施設が連携して各種事業を行うことで、従来にも増して、渋谷・恵比寿・原宿が魅力ある文化ゾーンとしての認知度を高め、文化芸術に触れる場や機会の提供の拡充を図っている。また、平成27年4月1日より団体名を「あ・ら・かるチャー文化施設運営協議会」に改名し、文化関連施設の運営に特化した連合体であることを強調した。

### 2 事業名

あ・ら・かるチャー文化施設運営協議会

### 3 連携施設

#### 計19施設（令和6年3月31日現在）

Bunkamura、戸栗美術館、ギャラリーTOM、渋谷区立松濤美術館、太田記念美術館、地球環境パートナーシッププラザ、セルリアンタワー能楽堂、白根記念渋谷区郷土博物館・文学館、渋谷区ふれあい植物センター、東京都立中央図書館、エビスビール記念館（令和4年10月休館）、山種美術館、国立オリンピック記念青少年総合センター、東京シアターオーブ、実践女子大学 香雪記念資料館、國學院大學博物館、こども科学センター・ハチラボ、コスモプラネタリウム、東京都写真美術館

※ただし、Bunkamura（令和8年までリニューアル休館）、渋谷区ふれあい植物センター（指定管理者変更）、エビスビール記念館（休館、令和5年4月以降YEBISU BREWERY TOKYO開館）こども科学センター・ハチラボ（指定管理者変更）である。

### 4 活動実績

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和5年度中は活動を休止とした。しかし5類移行を受けて、令和6年3月18日に総会を開催し、令和2年度～令和5年度までの休止期間中の状況確認と今後の活動方針について確認、検討をした。施設、地域を取り巻く状況変化が著しく、事業を終了する方向性を確認した。

## 上映事業

写真美術館の1Fホールを活用し、芸術性の高い上質な映画上映を行っている。宣伝・告知に関しては、配給会社のネットワークにより、新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・駅広告やウェブ展開など幅広く告知するとともに、ターゲット層を狙ったチラシ配布等を行っている。

多様な上映素材に対応するため、映写機材としてDCP（デジタルシネマパッケージ）を導入するとともに、35ミリフィルムや16ミリフィルム映写機を設置し、当館にふさわしい国内外の優れた映像作品を、より良い鑑賞環境で上映できるよう、映写、音響機器の充実を図った。



〈上映作品〉

- ・『私たちの青春、台湾』(監督：傅榆/2017年/台湾/116分/ドキュメンタリー)
- ・『暴力をめぐる対話』(監督：ダヴィッド・デュフレーヌ/2020年/フランス/93分/ドキュメンタリー)
- ・『これは君の闘争だ』(監督・脚本：エリザ・カバイ/2019年/ブラジル/93分/ドキュメンタリー)



### アジアの神々と匠

令和5年4月11日(火)～5月5日(金・祝) 22日間

配給会社：太秦株式会社

台湾の国宝級の音響効果技師や人間国宝で布袋戯(ほていぎ)の人形遣い師、日本の寺院建築の技術を伝えた宮大工。唯一無二の「職人の仕事」を伝えるドキュメンタリー映画3作品を一挙紹介した。

〈上映作品〉

- ・『擬音 A FOLEY ARTIST』(監督：ワン・ワンロー/2017年/台湾/100分/ドキュメンタリー)
- ・『台湾、街かどの人形戯』(監督：楊力州(ヤン・リージョウ)/2018年/台湾/99分/ドキュメンタリー)
- ・『鬼に訊け 宮大工西岡常一の遺言』(監督：山崎佑次/2011年/日本/88分/ドキュメンタリー)

### 市民、暴力、権力、その所有をめぐる映画祭

令和5年3月28日(火)～4月9日(日) 12日間うち8日間

配給会社：太秦株式会社

台湾、フランス、ブラジルで行われた「社会運動」をテーマとした3作品、台湾の「ひまわり運動」で若者たちの奮闘を記録した『私たちの青春、台湾』、フランス政府への抗議活動「黄色いベスト運動」で行われた暴力をめぐる、当事者・有識者が対話を重ねたドキュメンタリー『暴力をめぐる対話』、教育予算削減に対抗して学校を占拠した学生たちの視点から紡がれたブラジルのドキュメンタリー『これは君の闘争だ』を特集上映した。



映画「二宮金次郎」

令和5年5月23日(火)～5月28日(日) 5日間  
 監督：五十嵐匠/2019年/日本/113分/ドラマ  
 主催：株式会社映画二宮金次郎製作委員会

小学校の校庭に必ずと言っていいほどあった金次郎像。薪を背負って勉学に励んだその少年、二宮金次郎は、これまでの封建社会の枠組みを覆すような独特のやり方で荒廃した村々を次々と復興させる。200年前に二宮尊徳が辿り着いた思想の数々と激動の生涯を描く。



『日光物語』

令和5年6月17日(土)～6月23日(金) 6日間  
 監督・脚本：五藤利弘/2022年/日本/92分/ドラマ  
 主催：日光映画製作実行委員会

日光二社一寺への参道入口にある実在の人気カフェ「本宮カフェ」を舞台に、カフェを経営する大場嘉門とその家族を中心に、町の人々や日光を訪れる人々など、人と人が織りなす人情を描いたヒューマンコメディ。



『光をみつける ヴァイオリニスト穴澤雄介からのメッセージ』

令和5年5月30日(火)～6月11日(日) 11日間  
 監督・編集：永田陽介/2022年/日本/80分/ドキュメンタリー  
 配給会社：株式会社アウトサイド

子どもの頃に心臓手術を受けたことで、次第に中途失明となった穴澤雄介が選んだ人生はヴァイオリニスト。演奏だけでなく作曲、編曲も手がけながらライブ活動を行っている。指で触る点字の楽譜。全てのメロディを覚えなければ弾けないハンデ。明るく前向きな人柄を生かして、講演会など活躍する全盲のヴァイオリニスト穴澤が綴る音楽と人生の感動ドキュメンタリー。



『鬼に訊け 宮大工西岡常一の遺言』

令和5年6月24日(土)～7月2日(日) 7日間  
 監督：山崎佑次/2011年/日本/88分/ドキュメンタリー  
 配給会社：太秦株式会社

法輪寺三重塔、薬師寺金堂・西塔の再建を棟梁として手がけ、飛鳥時代から受け継がれていた寺院建築の技術を後世に伝えた「最後の宮大工」西岡常一。かつて「鬼」と畏れられた伝説の宮大工のドキュメンタリー映画。



○7月30日(日) 上映 世界のアニメーション作品集

- ・『あめのひ カロとピョプト #3』(監督：山村浩二/1992年/日本/4分20秒/アニメーション)
- ・『二羽の小鳥』(監督：イブリン・ランバート/1968年/カナダ/5分28秒/アニメーション)
- ・『めんどりの踊り』(監督：ノーマン・マクラレン/1942年/カナダ/3分54秒/アニメーション)
- ・『線と色の即興詩』(監督：ノーマン・マクラレン/1955年/カナダ/5分29秒/アニメーション)
- ・『ビーズ・ゲーム』(監督：イシュ・パテル/1977年/カナダ/5分43秒/アニメーション)
- ・『こどもの形而上学』(監督：山村浩二/2007年/日本/5分8秒/アニメーション)
- ・『ホッキョクグマすっごくひま』(監督：山村浩二/2021年/日本/7分/アニメーション)

●中学生、高校生にみてほしい2つの映画(中学生以上向け)

○8月19日(土)、20日(日) 上映

- ・『ルパン三世 カリオストロの城』(監督：宮崎駿/1979年/日本/100分/アニメーション)
- ・『音のない世界で』(監督：ニコラ・フィリベール/1992年/フランス/99分/ドキュメンタリー)

## 夏休みの映画館2023 忘れられない映画に出会う、夏。

令和5年7月29日(土)、30日(日)、8月19日(土)、20日(日) 4日間  
 主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館/コミュニティシネマセンター

企画協力・鑑賞ノート作成：「こどもと映画」プログラム・ワーキンググループ

特別協力：カナダ国立映画制作庁(NFB)/ヤマムラアニメーション  
 助成：文化庁文化芸術振興費補助金/独立行政法人日本芸術文化振興会

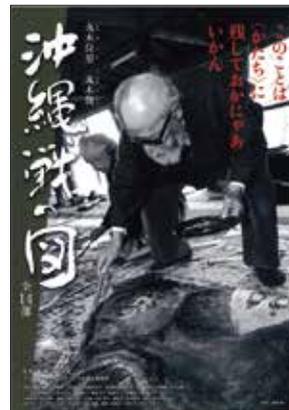
「夏休みの映画館」は、地域に暮らす子どもたち(小学生～高校生や大学生)が、夏休みに地域の映画館(ミニシアター・コミュニティシネマ)を訪れ、多様な映画と初めての映画館に出会い、未来の観客を育てるとともに、地域と映画館のつながりを深める上映プログラム。

ミニシアター・コミュニティシネマのスタッフが選んだ、子どもたちに見せたい多様な魅力的な映画を上映し、また、鑑賞ノートを使ったトーク等を行うことで、映画をより深く楽しむことができる工夫を凝らしている。小学生以下向けのプログラムと中学生以上向けのプログラムの2特集を上映した。

●小学生から大人まで楽しめるプログラム(小学生以下向け)

○7月29日(土) 上映 〈活弁付きサイレント映画の上映(活動写真弁士：坂本頼光)〉

- ・『海の水はなぜからい』(脚色・翻案：青地忠三、作画：村田安司/1935年/日本/10分/アニメーション)
- ・『キートンの探偵学入門』(監督・主演・編集：バスター・キートン/1924年/アメリカ/44分)



## 『丸木位里・丸木俊 沖縄戦の図 全14部』

令和5年8月1日(火)～8月6日(日) 6日間

監督・撮影：河邑厚徳/2023年/日本/88分/ドキュメンタリー

主催：アルミード

ノーベル平和賞候補になり、朝日賞や埼玉県民栄誉賞などを受賞した水墨画で風景画家の丸木位里(1901-1995)と人間画家の丸木俊(1912-2000)夫妻が晩年に取組んだ大作、『沖縄戦の図』を多角的に紹介するドキュメンタリー映画。本作は、『沖縄戦の図』全14部をのこらず紹介する初めての試みとして、「空爆」や「空襲」とは全く違う様相を見せた地上戦の真実、戦争に対する告発、最後には未来への祈りを現わしている。全作品をまとめて展示する機会は少なく、映像資料的な意味でも貴重なものとなった。



『東京裁判』

令和5年8月8日(火)～8月18日(金) 9日間  
 監督：小林正樹/1983年/日本/277分/ドキュメンタリー  
 配給会社：太秦株式会社

日本の戦後の運命を決定づけた極東国際軍事裁判の全貌を描いた4時間37分のドキュメンタリー映画。アメリカ国防総省が撮影していた50万フィートに及ぶ膨大な裁判記録のフィルムを5年の歳月をかけて130時間分の素材を選び、さらに脚本とフィルムを照らし合わせながら制作された本作は、「戦争」の本質とは何かを訴える。



『見えるもの、その先に ヒルマ・アフ・クリントの世界』

令和5年8月22日(火)～9月10日(日) 16日間  
 監督：ハリナ・ディルシュカ/2019年/ドイツ/94分/ドキュメンタリー  
 配給会社：株式会社トレノバ

20世紀初頭のスウェーデンでカンディンスキーやモンドリアンより早く独自の手法で抽象的絵画を描いていた謎多き画家ヒルマ・アフ・クリント。無名の画家であった彼女は、自らの死後20年にわたり作品の公表を封じ、2019年のグッゲンハイム美術館における回顧展で同館史上最高の動員数を記録し、一躍脚光を浴びる存在となった。さまざまな資料と美術関係者の証言から、彼女の見つめていた世界を探る。



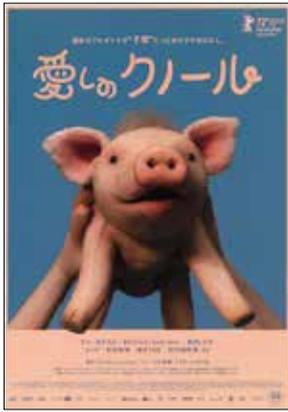
『鉛筆と銃 長倉洋海の眸』『丸木位里・丸木俊 沖縄戦の図 全14部』

令和5年9月12日(火)～9月24日(日) 12日間  
 主催：アルミード

1952年北海道釧路市に生まれ、通信社勤務を経て1980年より世界各地の紛争地域に赴き、取材を続けてきた写真家・長倉洋海。長きに亘りアフガニスタンを取材し、故マサード司令官の遺志を継いで「アフガニスタン山の学校支援の会」を立ち上げ、現在まで支援を続けてきた長倉の軌跡を追ったフォト・ドキュメンタリー映画。夏に上映し好評を博した同監督作品『丸木位里・丸木俊 沖縄戦の図 全14部』もアンコール上映した。

〈上映作品〉

- ・『鉛筆と銃 長倉洋海の眸』(監督・撮影：河邑厚徳/2023年/日本/90分/ドキュメンタリー)
- ・『丸木位里・丸木俊 沖縄戦の図 全14部』(監督・撮影：河邑厚徳/2023年/日本/88分/ドキュメンタリー)



『愛しのクノール』『ホフマニアダ ホフマンの物語』

令和5年10月1日(日) 1日間  
配給会社: 株式会社リスケット

誕生日プレゼントに子豚をもらった少女に巻き起こる騒動を描いたオランダ製パペットアニメーション。2022年の第72回ベルリン国際映画祭でワールドプレミア、日本では第1回新潟国際アニメーション映画祭のコンペ部門に上映された。『くるみ割り人形』の原作者E.T.A.ホフマンの空想世界を、ロシアの著名なアニメスタジオが15年の歳月をかけて製作した異色のストップモーションアニメーション、『ホフマニアダ ホフマンの物語』を併せて上映した。

〈上映作品〉

- ・『愛しのクノール』(監督: マッシュャ・ハルバースタッド/2022年/オランダ/73分/アニメーション)
- ・『ホフマニアダ ホフマンの物語』(監督: スタニフラフ・ソロコフ/2018年/ロシア/72分/アニメーション)



ショートショート フィルムフェスティバル&アジア 2023  
秋の国際短編映画祭

令和5年10月19日(木)~10月22日(日) 4日間  
主催: ショートショートフィルムフェスティバルアジア実行委員会

25年目を迎えたショートショート フィルムフェスティバル&アジア。秋の国際短編映画祭では、今年のベスト・オブ・ベストのショートフィルムと、映画祭プログラマーがセレクトした作品を6つのテーマでキュレーションし上映。また、特別企画として、韓国ショートフィルムを紹介した。

〈上映作品〉

- SSFF & ASIA 2023 受賞プログラム1-Kids are Alright
- ・『次の一手がすべてを決める』(監督: Aiden Nicell/0:40/カナダ)
  - ・『上なる如く』(監督: Kemi Adeeko/0:03:39/イギリス)
  - ・『スイート』(監督: 安井祥二/0:24:04/日本/ドラマ/2023)
  - ・『DOCOOK』(監督: 羽部空海/0:04:24/日本/アニメーション/2023)
  - ・『スパロー』(監督: Marcin Janos Krawczyk/0:24:06/ポーランド/ドラマ/2022)
  - ・『カミーユとコンティさん』(監督: Sophie Martin/0:21:37/フランス/ドラマ/2022)

SSFF & ASIA 2023 受賞プログラム2-さまよえる魂

- ・『最後に』(監督: Yohanes Kardono/0:40/インドネシア)
- ・『ミーシャ。娘へのラブレター』(監督: Andrzej Rudz/0:03:00/日本)
- ・『いつか君が戻ると思って』(監督: Kyeongwon Lee/0:24:49/韓国/ドラマ/2021)
- ・『ワイルドサモン』(監督: KARNI ARIELI, SAUL FREED/0:14:38/イギリス/アニメーション/2023)
- ・『宇宙飛行士の心』(監督: Jennifer Rainsford/0:14:44/スウェーデン/ドキュメンタリー/2023)
- ・『妻の電池切れ』(監督: 八幡貴美/0:21:06/日本/ドラマ/2023)

SSFF & ASIA 2023 受賞プログラム3-あの人の足跡

- ・『マーガレット・ギャラガーは実在する』(監督: Josh Spindler/0:40/イギリス)
- ・『兵士』(監督: Armin Pourmohammad/0:04:58/イラン)
- ・『希望のかけ橋』(監督: 吉田和泉/0:22:30/ポーランド/アニメーション)

ョン/2022)

- ・『半透明なふたり』(監督: 浜崎慎治/0:23:37/日本/ドラマ/2022)
- ・『Everywhere』(監督: Step Cheung, Ng Kai Chung/0:09:25/香港/アニメーション/

2022)

- ・『テルエルの彼方へ』(監督: Manuel Omonte/0:23:00/スペイン/ドラマ/2022)

SSFF & ASIA 2023 受賞プログラム4-敵は誰だ!?

- ・『またね』(監督: Ryan Simpson/0:35/アメリカ)
- ・『ポンポンおじさん』(監督: DARWIN MATIAS/3:50/フィリピン)
- ・『スカベンジャー』(監督: Manish Saini/0:24:28/インド/ドラマ/2022)
- ・『虎の洞窟』(監督: 野村萬斎/0:23:50/日本/ファンタジー/2023)
- ・『砂漠の星』(監督: Katherina Harder/0:18:56/チリ/ドラマ/2022)
- ・『アニーノ』(監督: Raymond Red/0:12:37/フィリピン/ドラマ/2000)

SSFF & ASIA 2023 受賞プログラム5-チガウを巡る物語

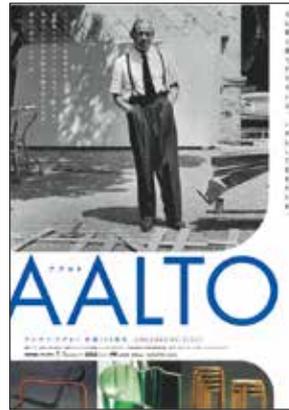
- ・『未来』(監督: Wojciech Koszyk/0:40/ポーランド)
- ・『薄れゆく影』(監督: Arun Yoganathan/0:04:30/インド)
- ・『ストレンジ』(監督: 落合賢/0:15:00/日本/ドラマ/2023)
- ・『私たちは他人です』(監督: 上條大輔/0:25:00/日本/ドラマ/2022)
- ・『マルゴの妹』(監督: Christine Doyon/0:17:00/カナダ/ドラマ/2022)
- ・『この街で生きた』(監督: 中川龍太郎/0:21:00/日本/ドラマ)

SSFF & ASIA 2023 受賞プログラム6-うつろいゆくものたち

- ・『マシューの井戸』(監督: DARWIN MATIAS/0:40/フィリピン)
- ・『フランススコを探して』(監督: Erick Gael Beltrán/5:00/メキシコ)
- ・『さようならまでの時間』(監督: Gustav Ågerstrand, Åsa Ekman, Oscar Hedin Hetteberg, Anders Teigen/0:23:46/スウェーデン/ドキュメンタリー/2022)
- ・『たゆたい』(監督: 齋藤汐里/0:11:49/日本/ドキュメンタリー/2023)
- ・『君のかけら』(監督: Raymond Doan/0:21:23/日本/ドラマ/2017)
- ・『縁々』(監督: 村松希祥/0:35:54/日本/ドラマ/2023)

韓国ショートフィルム特集

- ・『秘密にしよう』(監督: Cheol hwi KIM/0:22:45/韓国/スリラー/2021)
- ・『マルソック』(監督: Jae-ui LEE/0:18:00/韓国/ドラマ/2021)
- ・『カット!』(監督: Min-zun SON/0:16:51/韓国/ホラー/2022)
- ・『TRAP by SEO IN GUK』(監督: Seo In Guk/0:12:58/韓国/エクスペリメンタル/2022)
- ・『NEXUS』(監督: Kim Hyunsoo/0:13:45/韓国)



### 『アアルト』

令和5年10月28日(土)~11月26日(日) 20日間

監督: ヴィルピ・スータリ/2020年/フィンランド/103分/ドキュメンタリー

配給会社: 株式会社ドマ

フィンランドを代表する建築家・デザイナーのアルヴァ・アアルト(1898-1976年)。人と環境に優しいデザインで、現代の生活にも溶け込む逸品はどのようにして生まれたのか。フィンランドの新鋭監督ヴィルピ・スータリが、アアルトの最初の妻、アイノとの手紙のやりとりや、同世代を生きた建築家や友人たちの証言などを盛り込みながら、アアルトの知られざる素顔を躍動感溢れるタッチで描き出す。



### 「ホロコースト証言シリーズ」3部作

令和5年12月3日(日)~12月15日(金) 10日間

配給会社: 株式会社サニーフィルム

世界的に戦争体験者がいなくなるなか、人類史上最大の悪であるホロコーストの記憶を、被害者のみならず、加害者、賛同者、反逆者の視点からも捉え、多角的に戦争の真実を記録するプロジェクト「ホロコースト証言シリーズ」。本シリーズ3部作の完結作となる『メンゲレと私』を上映。1作目『ゲッベルスと私』(2018年公開)、2作目『ユダヤ人の私』(2021年公開)も併せて上映した。

〈上映作品〉

- ・『メンゲレと私』(監督: クリスティアン・クレーネス、フロリアン・

ヴァイゲンザマー/2023年/オーストリア/96分/ドキュメンタリー)

- ・『ゲッベルスと私』(監督:クリスティアン・クレネス、フロリア・ヴァイゲンザマー/2016年/オーストリア/113分/ドキュメンタリー)
- ・『ユダヤ人の私』(監督:クリスティアン・クレネス、フロリアン・ヴァイゲンザマー、クリスティアン・ケルマー、ローランド・シュロットホーファー/2019-2021年/オーストリア/114分/ドキュメンタリー)

## 1 設立について

東京都写真美術館は、日本における写真・映像文化のセンターの役割を果たしていくとともに、世界との交流の輪を広げ、国際的な文化交流の拠点として、また開かれた参加型の美術館として広く皆様から愛されるよう努めている。

これらの役割を果たしていくため、都立美術館として基本的な運営費は東京都が支えるものであるが、さらに広く各方面からのご支援・ご援助を賜ることにより、より多彩に充実した活動を展開していくという趣旨のもとに支援会員制度を設立（2001年7月）し、今日に至っている。

## 2 支援会員募集要項

### (1) 募集対象

企業・学校・団体等（個人会員も個別応談）

### (2) 支援会費

1口 30万円

※支援会費の取り扱いについては「会費（協賛金）」または「寄附金」を選択

特別賛助会員：10口以上

賛助会員：5口以上

特別支援会員：2口以上

支援会員：1口以上

### (3) 支援会員入会申込先

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3

東京都写真美術館 支援会員事務局

TEL 03-3280-0032 FAX 03-3280-0033

E-mail : shien@topmuseum.jp

## 3 支援会員の主な特典

〈会費（協賛金）の場合〉

### (1) 顕名

支援会員名を館内に掲示するとともに「写真美術館ニュースeyes（アイズ）」及びホームページに掲載する。



支援会員顕名板

### (2) 主催展覧会への招待

主催各展覧会の招待券および図録の進呈。

### (3) 展覧会特別鑑賞会への招待

オープニングレセプション、特別鑑賞会へのご招待。

### (4) 支援会員向けイベントへの招待

写真映像文化振興支援協議会主催の懇談会、企業交流会、特別内覧会、支援会員限定のセミナー、ギャラリートーク等へのご招待。

### (5) 情報提供

- ・「写真美術館ニュースeyes（アイズ）」等、出版物ご送付。
- ・催事情報の事前ご提供。
- ・メールアドレスをご登録頂いた全会員様への展覧会の年間スケジュール及びプレスリリースのご提供。
- ・東京都写真美術館ホームページの支援会員欄に会員企業のロゴの掲示（特別支援会員以上）と各社ホームページへのリンク（ご希望により順次）を開始した。

〈寄附金の場合〉

- (1) 展覧会招待券の贈呈を除く、上記特典を提供する。
- (2) 公益財団法人に対する寄附金として、税制上の優遇措置が適用される。

## 4 支援会費の主な用途

支援会費は東京都写真美術館の次のような活動等に適宜充当している。

### (1) 写真・映像収蔵作品の充実

国内や海外の写真作品等の購入に充当し、収蔵作品の充実をはかる。

### (2) 新進作家の発掘と育成（展覧会開催の支援）

国内・海外で発表される作品の調査研究等の活動を通して新進作家を発掘し、作品発表の場を提供してその育成を支援する。

### (3) 企画展開催の支援

自主企画展、収蔵展等の充実をはかる。

### (4) 国際交流事業の支援

海外各国の写真美術館等との交流を深め、国際シンポジウムの開催等、国際交流活動を促進する。

### (5) 教育普及活動、対外サービス活動の支援

スクールプログラム、パブリックプログラム、ライブラリー活動等の対外サービス活動を支援する。

### (6) 国内関係先との交流の支援

国内の関係美術館等との交流や巡回展を活発化する。

### (7) あ・ら・かるちゃー事業の支援

渋谷、恵比寿、原宿地域の美術館・博物館等の文化施設連携事業を支援する。

### (8) 支援会員向けイベントの開催

企業交流会、特別内覧会、支援会員限定のセミナー、ギャラリートーク等の活動を行うとともに、年に1回写真映像文化振興支援協議会総会（理事会）、懇談会を開催する。

## 5 写真映像文化振興支援協議会及び支援会員募集活動

本協議会は、平成13年度に「写真・映像に係る文化や芸術等の振興を図るとともに、東京都写真美術館の活動等を支援すること」を目的として設立された団体である。

なお、平成22年4月に財団法人東京都歴史文化財団が公益財団法人となったことを機に、従来の「維持会員」から「支援会員」へと名称を変更した。

## (1) 令和5年度事業報告

- (ア) 会員の入退会動向は、企業への訪問等制約が多い中、新規入会は3法人、退会13法人となった。(令和5年度末の会員数：211法人) 今年度の支援会費は、予算計画7,360万円の達成を目指し鋭意取組みを進めたが、支援会費6,308万円の結果となった。また、支援会費の内訳は、会費(協賛金)が90%、寄附金が10%とほぼ例年並みとなった。
- (イ) 支援会員名を写真美術館正面玄関ロビー顕名板に掲げるとともに、「写真美術館ニュースeyes(アイズ)」並びにホームページに掲載した。
- (ウ) 支援会員に対して、主催展覧会への招待及び特別展覧会を行った。また、展覧会図録・出版物の送付を行った。
- (エ) 写真映像文化振興支援協議会理事会を令和5年7月3日に開催するとともに、会員企業様と共に「支援会員様謝恩報告会」を開催した。会員様イベントとして「二宮金次郎」を上映した。
- (オ) 会員企業様の文化活動の紹介と見学及び会員相互の交流を目的とした企業交流会はコロナ後の環境もあり上期・下期ともに開催中止とした。
- (カ) 「深瀬昌久 1961-1991レトロスペクティブ」「見るまえに跳べ 日本の新進作家 vol.20」「記憶：リメンブランクスー現代写真・映像の表現から」について、支援会費より経費等支援を行った。
- (キ) 当館のコレクションの充実を図るため、令和5年度は4作家の40作品を購入した。  
令和5年度収蔵展「TOPコレクション セレンディビティ」に出品した奈良美智の《Hello World (left); Hello World (right)》を購入した。本作は、平成31年に購入した奈良美智の《NY drawing/Yogyakarta cat》とは対になる作品であり、今後もコレクション展等で活用する予定である。また、潮田登久子の〈冷蔵庫/ICE BOX〉より16点、百々俊二〈新世界 むかしも今も〉より20点を購入した。潮田、百々は1990年代以降に評価が高まった写真家で、その代表作を購入することにより、当館のコレクションを充実させるものである。  
また、山中信夫の〈マンハッタンの太陽〉より3点購入した。写真装置の原点であるピンホールに着想を得た山中の作品は独創性が高く、1982年にニューヨークで作家が急逝後、近年再評価の機運が高まる貴重な作品である。

## (2) 理事会

協議会の理事会は以下の理事で構成されている。  
(令和5年7月3日理事会承認内容)  
(社名五十音順・敬称略)

### 理事長

足立正親 キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
代表取締役社長

### 理事

芝田浩二 ANAホールディングス株式会社  
代表取締役社長

杉本繁実 OMデジタルソリューションズ株式会社  
代表取締役兼CEO

田中稔三 キヤノン株式会社 代表取締役副社長 CFO

宮澤高就 サッポロ不動産開発株式会社  
代表取締役社長

北島義俊 大日本印刷株式会社 代表取締役会長

飯塚恒生 東急建設株式会社 相談役

金子眞吾 凸版印刷株式会社 代表取締役会長

牛田一雄 株式会社ニコン 取締役会議長

後藤禎一 富士フイルム株式会社  
代表取締役社長・CEO

赤羽 昇 リコーイメージング株式会社  
代表取締役社長

### 監事

三枝 稔 学校法人先端教育機構 専務理事

### 専務理事(※事務局長業務代行)

綾部邦章 東京都写真美術館 参与

### 名誉顧問

滝川精一 写真映像文化振興支援協議会 元理事長  
キヤノン販売株式会社(現キヤノンマーケティング株式会社) 元社長



写真映像文化振興支援協議会 理事会



伊東館長



足立前理事長



足立新理事長



謝恩報告会



第1回特別内覧会（令和5年6月1日）

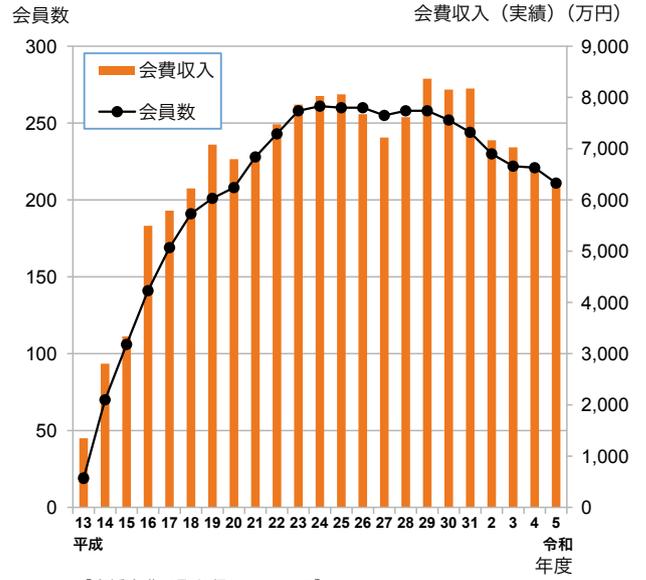


第2回特別内覧会（令和5年10月26日）



第3回特別内覧会（令和6年2月29日）

### 支援会員数と会費収入の推移



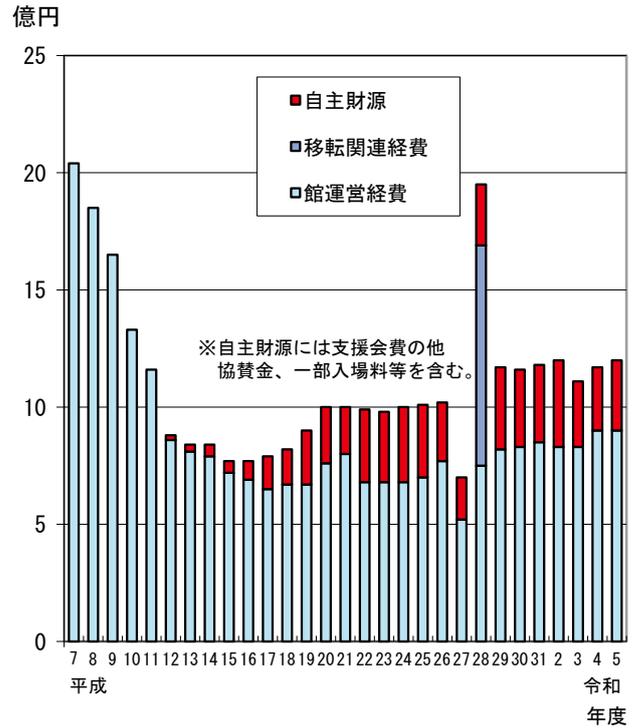
[支援会費の取り扱いについて]

21年度までは会費

22年度より会費と寄附金の二本立て（公益財団法人移行のため）

会費：22年度まで内税、23年度より外税 寄附金：不課税

### 予算額に占める自主財源の割合



※自主財源には支援会費の他協賛金、一部入場料等を含む。

## 令和5年度（令和6年3月31日現在）支援会員企業・団体（211法人 50音順）

### （特別賛助会員）

キヤノン株式会社  
全日本空輸株式会社  
株式会社ニコソ

### （賛助会員）

キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
株式会社資生堂  
大日本印刷株式会社  
東急建設株式会社  
TOPPANホールディングス株式会社  
富士フイルム株式会社

### （特別支援会員）

アサヒグループホールディングス株式会社  
サッポロ不動産開発株式会社  
サッポロホールディングス株式会社  
ピクテ・ジャパン株式会社  
リコーイメージング株式会社

### （支援会員）

株式会社I&S BBDO  
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
アイング株式会社  
アオイネオン株式会社  
株式会社アクト・テクニカルサポート  
株式会社浅沼商会  
旭化成株式会社  
株式会社朝日工業社  
朝日新聞社  
株式会社朝日新聞出版  
朝日生命保険相互会社  
有限会社アスペン/POLARIS  
株式会社アフロ  
株式会社アマナ  
株式会社岩波書店  
株式会社潮出版社  
株式会社栄光社  
株式会社エージービー  
株式会社ADKクリエイティブ・ワン  
（一財）AVCC・霞が関ナレッジスクエア（KK<sup>2</sup>）  
SMBC日興証券株式会社  
株式会社NHKエデュケーション  
株式会社NHKエンタープライズ  
株式会社NHK出版  
株式会社NHKテクノロジーズ  
ENEOSホールディングス株式会社  
エルメス財団  
OMデジタルソリューションズ株式会社  
カールツァイス株式会社  
花王株式会社  
鹿島建設株式会社  
株式会社KADOKAWA  
カトーレック株式会社  
神奈川新聞社  
カメラショップ株式会社  
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社  
株式会社キクチ科学研究所  
株式会社キタムラ  
キッコマン株式会社  
株式会社紀伊國屋書店  
ギャラリー小柳  
共同印刷株式会社  
一般社団法人共同通信社  
空港施設株式会社  
株式会社久米設計  
グローリー株式会社  
株式会社ケー・アンド・エル  
グッティイメージズジャパン株式会社  
興亜硝子株式会社  
株式会社弘亜社  
株式会社公栄社  
株式会社廣済堂

株式会社講談社  
株式会社光文社  
株式会社国書刊行会  
株式会社コスモスインターナショナル  
小山登美夫ギャラリー株式会社  
佐川印刷株式会社  
三愛オプリー株式会社  
三機工業株式会社  
産経新聞社  
サントリーホールディングス株式会社  
株式会社ジェイアール東日本企画  
JSR株式会社  
株式会社JTB  
株式会社シグマ  
株式会社実業之日本社  
信濃毎日新聞社  
清水建設株式会社  
株式会社写真弘社  
写真の学校/東京写真学園  
シャネル合同会社  
株式会社集英社  
シュッピン株式会社  
株式会社小学館  
松竹株式会社  
信越化学工業株式会社  
株式会社新潮社  
株式会社晋遊舎  
株式会社スタジオエムジー  
株式会社スタジオジブリ  
株式会社SUBARU  
住友生命保険相互会社  
株式会社住友倉庫  
株式会社生活の友社  
セイコーグループ株式会社  
双日株式会社  
ソニーグループ株式会社  
損害保険ジャパン株式会社  
第一生命保険株式会社  
台新国際商業銀行  
大和証券株式会社  
有限会社タカ・イシイギャラリー  
株式会社高島屋  
株式会社竹中工務店  
株式会社タニタ  
株式会社タムロン  
株式会社丹青社  
株式会社中央論新社  
中外製薬株式会社  
株式会社TBSテレビ  
株式会社テレビ朝日  
株式会社テレビ東京  
株式会社電通  
東亜建設工業株式会社  
東映株式会社  
株式会社東京印書館  
東京工科大学/日本工学院  
東京工芸大学  
東京新聞・中日新聞社  
株式会社東京スタジオ  
東京造形大学  
東京総合写真専門学校  
株式会社東京ダイケンビルサービス  
東京建物株式会社  
東京地下鉄株式会社  
東京テアトル株式会社  
東京都競馬株式会社  
株式会社東京ニュース通信社  
（学）専門学校 東京ビジュアルアーツ  
株式会社東京美術倶楽部  
東京メトロポリタンテレビジョン株式会社  
株式会社東芝  
東宝株式会社  
株式会社東北新社

株式会社東洋経済新報社  
株式会社徳間書店  
戸田建設株式会社  
株式会社トロンマネージメント  
株式会社ニコイメージングジャパン  
日油株式会社  
日活株式会社  
日機装株式会社  
日光ケミカルズ株式会社  
日本空港ビルディング株式会社  
日本経済新聞社  
株式会社日本広告社  
公益社団法人日本広告写真家協会  
日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社  
公益社団法人日本写真家協会  
公益社団法人日本写真協会  
日本写真芸術専門学校  
日本生命保険相互会社  
日本大学芸術学部  
株式会社日本デザインセンター  
株式会社ニッポン放送  
日本レコードマネージメント株式会社  
日本ロレックス株式会社  
野村證券株式会社  
株式会社博報堂  
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ  
株式会社博報堂プロダクツ  
株式会社ハーツ  
パナソニックホールディングス株式会社  
株式会社パラゴン  
株式会社バンダイナムコフィルムワークス  
びあ株式会社  
北海道 写真の町東川町  
株式会社美術出版社  
株式会社ビックカメラ  
株式会社ピラミッドフィルム  
株式会社ファーストリテイリング  
株式会社フェドラ  
株式会社フジテレビジョン  
株式会社フジヤカメラ店  
芙蓉総合リース株式会社  
株式会社フレームマン  
プロフォト株式会社  
株式会社文化工房  
株式会社文藝春秋  
北海道新聞社  
株式会社ホテルオークラ東京  
本田技研工業株式会社  
毎日新聞社  
丸善雄松堂株式会社  
マルミ光機株式会社  
株式会社マンダム  
株式会社みずほ銀行  
三井住友海上火災保険株式会社  
三井倉庫ホールディングス株式会社  
三井不動産株式会社  
三菱製紙株式会社  
三菱電機株式会社  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
明治安田生命保険相互会社  
森ビル株式会社  
ヤマト運輸株式会社  
株式会社吉野工業所  
株式会社ヨドバシカメラ  
読売新聞社  
ライオン株式会社  
ライカカメラジャパン株式会社  
株式会社リビタ  
株式会社良品計画  
株式会社ロボット  
株式会社ワコウ・ワークス・オブ・アート  
株式会社ワコール

## ミュージアム・ショップ

単なる「売店」ではないオリジナリティーあふれる品揃え、従来のショップ像にはとどまらない創意工夫と、同時代性を常に意識したセレクトにより、新たなニーズに対応した魅力あるミュージアム・ショップを目指す。

当館で開催される展覧会や上映事業にあわせた図録・書籍のほか、関連グッズを販売。当館オリジナルグッズの開発を行うとともに、写真・映像関連の和・洋書、古書、デザイングッズを展開し、非流通本なども取り揃えることで、より一層の幅広い商品展開に努める。

- 店名 NADiff BAITEN (ナディッフ バイテン)
- 営業時間 10:00~18:00 (木・金曜日は20:00まで)
- 定休日 毎週月曜日 (月曜が祝日の場合はその翌日)、ほか美術館の休館日に準じる
- 平成28年9月3日オープン
- オリジナルグッズの開発例
  - ・深瀬昌久 レトロスペクティブ 展覧会オリジナルポストカード
  - ・TOPMUSEUMシンボルマークTシャツ (再販)
- 好評だった商品例
  - ・オリジナルグッズ 色と形と言葉のゲーム
  - ・深瀬昌久 レトロスペクティブ 展覧会図録
  - ・風景論以後 展覧会図録
  - ・土門拳写真集「土門拳の古寺巡礼」



## カフェ

展覧会や映画鑑賞の合間に少し立ち寄るといった利用だけでなく、写真美術館という日常から少し離れた特別な空間で、ゆっくりとした時間を過ごせる場を提供し、来館者はもちろん恵比寿界隈を訪れる方や周辺のオフィスワーカーなど、多くのお客様が行き交う魅力ある店舗を目指す。

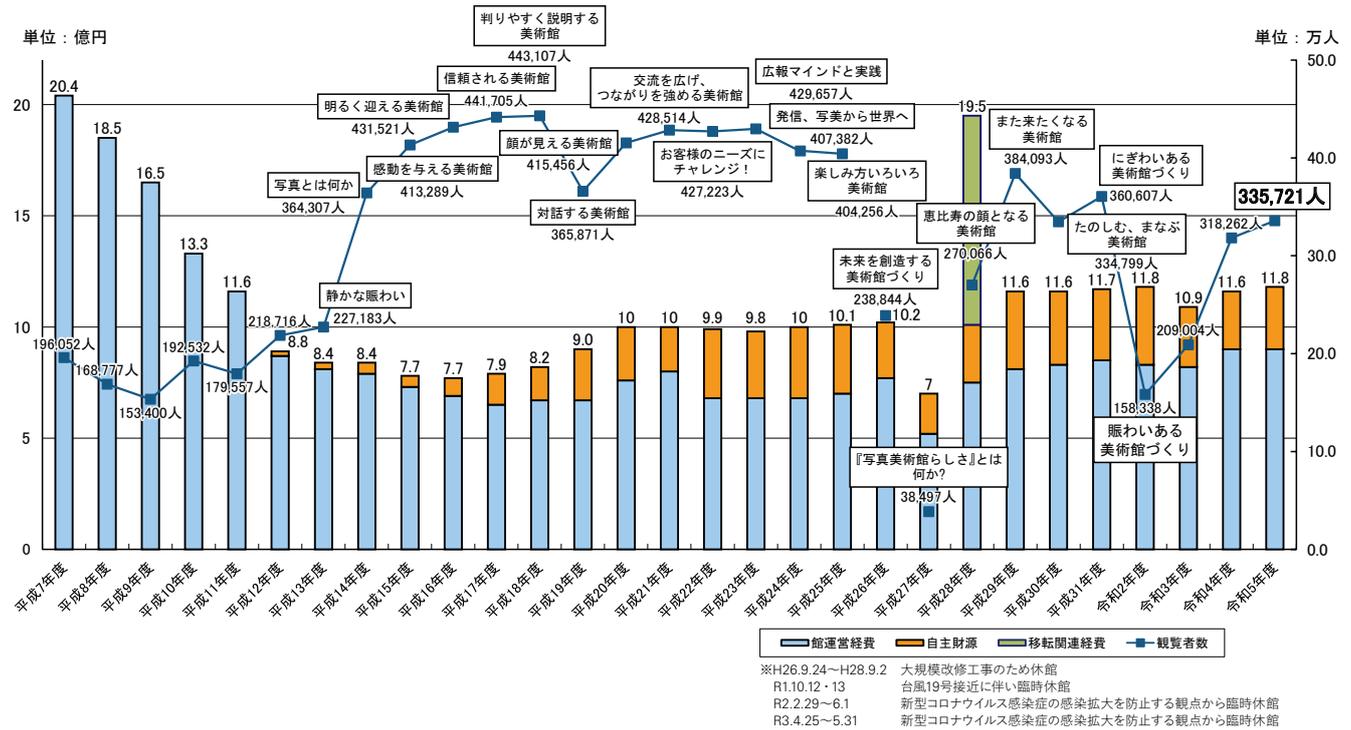
旬の果物を使った「季節のパフェ」をはじめ、美術館ブレンドのコーヒーや自家製のドリンクなどの素材にこだわったメニューを展開し、さらに当館の展覧会・上映事業とコラボレーションしたメニューを開発するなど、幅広い客層が楽しめるメニューを提供している。

- 店名 フロムトップ
- 営業時間 10:00~18:00 (木・金曜日は20:00まで)
- 定休日 毎週月曜日 (月曜が祝日の場合はその翌日)、ほか美術館の休館日に準じる
- 席数 約40席 (変動あり)
- 令和3年8月24日オープン
- 提供商品の一例：各種スイーツ/ランチ/コーヒー、日本茶、フルーツティー等のドリンク など
- コラボメニューの一例
  - ・「TOPコレクション セレンディビティ」展  
ホワイトチョコとラズベリーのチーズケーキ
  - ・「本橋成一とロベール・ドアノー」展  
オリジナルブレンドコーヒー  
『生きる喜びブレンド』



# 数字で見る東京都写真美術館

## 令和5年度 予算額と年間観覧者数

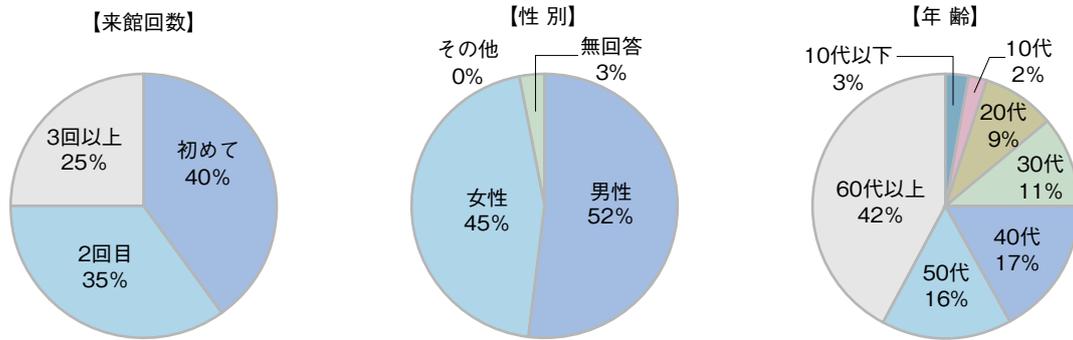


## 令和5年度 入館者数内訳

	収蔵展	自主企画展	誘致展	上映事業	観覧者合計	その他入館者						その他入館者合計	入館者総合計
						展覧会 関連講演会	パブリック プログラム	スクール プログラム	ギャラリー トーク	図書室	スタジオ		
4月	5,146	6,977	9,613	552	22,288	172	0	0	0	2,032	50	2,254	24,542
5月	7,340	8,301	10,533	1,375	27,549	180	7	17	11	2,054	59	2,328	29,877
6月	6,620	13,580	0	1,102	21,302	146	83	56	74	2,040	0	2,399	23,701
7月	5,353	17,245	0	630	23,228	312	89	37	82	2,211	0	2,731	25,959
8月	11,060	6,784	0	1,117	18,961	400	32	57※	100	2,187	0	2,776	21,737
9月	11,744	7,073	0	1,562	20,379	181	32	93※	62	1,931	0	2,299	22,678
10月	22,394	1,073	0	2,364	25,831	818	18	9	80	2,177	102	3,204	29,035
11月	10,011	6,084	5,809	2,142	24,046	331	47	19	94	1,993	0	2,484	26,530
12月	6,195	5,412	7,929	2,153	21,689	603	25	130	57	1,796	171	2,782	24,471
1月	9,457	8,197	6,898	1,104	25,656	1,113	61	36	77	1,169	1,113	3,569	29,225
2月	0	79,976	883	209	81,068	444	0	12	0	1,984	0	2,440	83,508
3月	0	16,119	7,425	180	23,724	69	63	37	21	2,124	65	2,379	26,103
合計	95,320	176,821	49,090	14,490	335,721	4,769	457	503	658	23,698	1,560	31,645	367,366

※博物館実習参加者含む

令和5年度 来館者の内訳（当館アンケート調査より）



令和5年度 マスコミ等掲出状況

【単位：件】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
TV・ラジオ放送件数	1	1	1	6	1	1	0	1	3	6	1	1	23
新聞掲出件数	23	51	41	37	28	67	22	20	49	45	8	43	434
雑誌等掲出件数	34	85	60	54	68	42	113	72	68	104	106	124	930
ホームページアクセス件数	423,310	452,614	622,805	341,833	469,892	446,637	340,495	266,968	320,751	275,324	453,854	216,969	4,631,452
ツイッターフォロワー数	539,602	54,026	54,609	55,113	55,624	55,974	56,291	56,608	56,954	57,537	57,994	58,439	—

令和5年度 ボランティア活動状況

【単位：人】

事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	76	76	76	76	76	76	76	87	87	87	86	86	965
活用事業実施回数	0	1	2	7	3	4	3	8	8	5	67	5	113
延活動者数	0	3	18	35	13	19	0	38	56	51	115	29	377
研修実施回数	0	0	2	0	0	0	0	6	1	1	0	2	12
研修参加者数	0	0	38	0	0	0	0	71	25	23	0	26	183

令和5年度 貸出施設利用状況

事業名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3階展示室	開館日数	26	27	26	26	27	26	26	26	24	18	24	27	303
	貸出日数	21	27	26	19	27	26	17	26	24	18	24	21	276
	稼働率	80.8%	100.0%	100.0%	73.1%	100.0%	100.0%	65.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	77.8%	91.1%
2階展示室	開館日数	26	27	26	26	27	26	26	26	24	18	24	27	303
	貸出日数	26	27	17	26	27	21	22	26	24	18	15	27	276
	稼働率	100.0%	100.0%	65.4%	100.0%	100.0%	80.8%	84.6%	100.0%	100.0%	100.0%	62.5%	100.0%	91.1%
地下1階展示室	開館日数	26	27	26	26	27	26	26	26	24	18	24	27	303
	貸出日数	26	21	25	26	18	26	26	22	21	14	20	23	268
	稼働率	100.0%	77.8%	96.2%	100.0%	66.7%	100.0%	100.0%	84.6%	87.5%	77.8%	83.3%	85.2%	88.4%
ホール	開館日数	26	27	26	26	27	26	26	26	24	18	24	27	303
	貸出日数	26	16	22	13	26	22	16	22	17	9	23	4	216
	稼働率	100.0%	59.3%	84.6%	50.0%	96.3%	84.6%	61.5%	84.6%	70.8%	50.0%	95.8%	14.8%	71.3%
スタジオ(創作室)	開館日数	26	27	26	26	27	26	26	26	24	18	24	27	303
	貸出日数	4	3	0	0	0	0	7	0	2	0	3	4	23
	稼働率	15.4%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.9%	0.0%	8.3%	0.0%	12.5%	14.8%	7.6%

令和5年度 作品貸出状況

	貸出先	展覧会タイトル	展覧会会期	貸出期間	点数
1	長崎県美術館	スペインのイメージ：版画を通じて写し伝わるすがた	令和5年4月8日(土)～令和5年6月11日(火)	令和5年3月29日(金)～令和5年6月21日(水)	2
2	国立西洋美術館		令和5年7月4日(火)～令和5年9月3日(日)	令和5年6月21日(水)～令和5年9月14日(木)	3
3	千葉市美術館	『前衛』写真の精神：なんでもないものの変容	令和5年4月8日(土)～令和5年5月21日(日)	令和5年3月23日(金)～令和6年2月27日(火)	38
4	富山県美術館		令和5年6月3日(土)～令和5年7月17日(月・祝)		
5	新潟市美術館		令和5年7月29日(土)～令和5年9月24日(日)		
6	渋谷区立松濤美術館		令和5年12月2日(土)～令和6年2月4日(日)		
7	高崎市美術館	宮崎学 イマドキの野生動物	令和5年6月24日(水)～令和5年9月3日(日)	令和5年6月20日(火)～令和5年9月4日(月)	27
8	和歌山県立近代美術館	トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術	令和5年9月30日(土)～令和5年11月30日(木)	令和5年9月14日(木)～令和5年12月19日(火)	14
9	森美術館	私たちのエコロジー：地球という惑星を生きるために	令和5年10月18日(水)～令和6年3月31日(日)	令和5年10月6日(金)～2024年4月4日(木)	6
10	東京工芸大学(誘致展)	東京工芸大学 創立100周年記念展「写真から100年」	令和5年11月11日(土)～令和5年12月10日(日)	令和5年11月8日(水)～令和5年12月11日(月)	4
11	東京都美術館	動物園にてー東京都コレクションを中心に	令和5年11月16日(木)～令和6年1月8日(月・祝)	令和5年10月19日(木)～令和6年1月16日(火)	14
12	京都府京都文化博物館	シュルレアリスムと日本	令和5年12月16日(土)～令和6年2月4日(日)	令和5年11月30日(木)～2024年7月中旬予定	5
13	板橋区立美術館		令和6年3月2日(土)～令和6年4月14日(日)		
14	三重県立美術館		令和6年4月27日(土)～令和6年6月30日(日)		
15	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	回復する	令和5年12月23日(土)～令和6年3月10日(日)	令和5年12月6日(水)～令和6年3月21日(木)	5
16	国立西洋美術館	ここは未来のアーティストたちが眠る部屋となりえてきたか？ -国立西洋美術館65年目の自問 現代美術家たちへの問いかけ	令和6年3月12日(火)～令和6年5月12日(日)	令和6年2月21日(水)～令和6年5月下旬予定	2
17	横浜美術館	第8回横浜トリエンナーレ「野草：いま、ここで生きてる」	令和6年3月15日(金)～令和6年6月9日(日)	令和6年2月16日(金)～令和6年6月中旬予定	18
18	神戸市立博物館	特別展「Colorful JAPANー幕末・明治手彩色写真への旅」	令和6年3月30日(土)～令和6年5月19日(日)	令和6年3月7日(木)～令和6年5月下旬予定	8
19	アーティゾン美術館	ブランクーン 本質を象る	令和6年3月30日(土)～令和6年7月7日(日)	令和6年3月27日(水)～令和6年7月中旬予定	45
合計			19件	191点	

令和5年度 職業体験型インターンシップ等受入実績(短期)

所属	学年	人数	期間
日本大学藝術学部	3年生	2	令和5年8月22日(火)～9月2日(土) うち10日間
目黒区立大鳥中学校	2年生	2	令和5年6月6日(火)～7日(水) 2日間
都立白鷗高等学校附属中学校	2年生	2	令和5年11月8日(水)～9日(木) 2日間

令和5年度 インターンシップ受入実績

配属	人数	期間
普及係	1	令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)
事業第二係	1	令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)

令和5年度 展覧会別入場者数

	展覧会名	会期	開催日数	総入場者
収蔵展	1 TOPコレクション セレンディビティ 日常のなかの予期せぬ素敵な発見	4/7-7/9	82	21,875
	2 TOPコレクション 何が見える?「覗き見る」まなざしの系譜	7/19-10/15	77	20,191
	3 風景論以後	8/11-11/5	75	23,677
	4 即興 ホンマタカシ	10/6-1/21	90	29,577
自主企画展	1 深瀬昌久 1961-1991 レトロスペクティブ	(3/3) 4/1-6/4	57	17,276
	2 田沼武能 人間讃歌	6/2-7/30	51	17,580
	3 本橋成一とロベール・ドアノー 交差する物語	6/16-9/24	87	25,104
	4 見るまえに跳べ 日本の新進作家vol.20	10/27-1/21	72	20,766
	5 恵比寿映像祭2024 月へ行く30の方法	2/2-2/18	15	78,035
	6 恵比寿映像祭2024コミッション・プロジェクト	2/2-3/24	45	9,804 (※)
	7 記憶：リメンブラン スー 現代写真・映像の表現から	3/1-3/31 (6/9)	27	8,256
誘致展	1 土門拳の古寺巡礼	(3/18) 4/1-5/14	39	17,021
	2 第48回 2023 JPS展	5/20-5/28	8	3,125
	3 東京工芸大学 創立100周年記念展「写真から100年」	11/11-12/10	26	9,593
	4 Prix Pictet [Human]	12/15-1/17	26	11,043
	5 APA アワード 2024	2/24-3/10	14	3,216
	6 没後50年 木村伊兵衛 写真に生きる	3/16-3/31 (5/12)	14	5,092

※恵比寿映像祭開催中の入場者は「恵比寿映像祭2024」を含む

内訳	
収蔵展	95,320
自主企画展	176,821
誘致展	49,090
上映事業他イベント	14,490
上映	8,710
その他イベント	5,780
合計	335,721

	タイトル	会期	開催日数	総入場者
上映事業他イベント	1 市民、暴力、権力、その所有をめぐる映画祭	4/1-4/9	8	120
	2 アジアの神々と匠	4/11-5/5	22	452
	3 「土門拳の古寺巡礼」展記念講演会 土門の撮影助手・藤森武が語る「土門拳と古寺巡礼」	4/15	1	172
	4 「土門拳の古寺巡礼」展特別対談 内弟子が語る「古寺巡礼」	5/6	1	180
	5 アレグラ・パチェコ『Salaryman』上映会	5/13	1	70
	6 第48回2023JPS展表彰式、セミナー	5/20,21	2	458
	7 二宮金次郎	5/23-28	5	410
	8 光をみつめる ヴァイオリニスト穴澤雄介からのメッセージ	5/30-6/11	11	464
	9 アレグラ・パチェコ『Salaryman』上映会	6/3	1	68
	10 日光物語	6/17-6/23	6	388
	11 鬼に訊け 宮大工西岡常一の遺言	6/24-7/2	7	167
	12 「本橋成一とロベール・ドアノー 交差する物語」展 ゲストと出品作家による関連トーク	6/30	1	146
	13 「田沼武能 人間讃歌」展講演会「田沼武能を語る」	7/8	1	111
	14 ぐるっとパス2022総会	7/13	1	76
	15 「本橋成一とロベール・ドアノー 交差する物語」展特別映画上映	7/9,15-17,22,23,27	7	316
	16 夏休みの映画館2023	7/29-30,8/19-20	4	136
	17 丸木位里・丸木俊 沖繩戦の図 全14部	8/1-8/6	6	395
	18 東京裁判 4Kデジタルリマスター版	8/8-8/18	9	245
	19 「本橋成一とロベール・ドアノー 交差する物語」展 特別映画上映	8/13	1	38
	20 見えるもの、その先に ヒルマ・アフ・クリントの世界	8/22-9/10	16	401
	21 「風景論以後」展 関連上映	8/24,26,27,10/6-9,12,13	9	733
	22 「風景論以後」出品作家によるアーティストトーク	8/25,9/30,10/9	3	86
	23 鉛筆と銃 長倉洋海の眸 丸木位里・丸木俊 沖繩戦の図 全14部	9/12-9/24	12	1,081
	24 「本橋成一とロベール・ドアノー 交差する物語」展特別映画上映	9/17	1	78
	25 「TOPコレクション 何が見える?「覗き見る」まなざしの系譜」展「覗き見る」メディアとイメージをめぐるレクチャー	9/24	1	40
	26 愛しのクノール	10/1	1	68
	27 「即興 ホンマタカシ」展 映像作品特集上映	10/14-15,11/18-19,12/16-17	6	930
	28 ショートショートフィルムフェスティバル&アジア2023	10/19-22	4	1,156
	29 APJNFTアート1周年記念シンポジウム	10/25	1	75
	30 アアルト	10/28-11/26	20	1,675
	31 「JPSフォトフォーラム」	11/3	1	288
	32 東京工芸大学記念式典	11/10	1	130
	33 カメラ技術セミナー	11/17	1	128
	34 画像保存セミナー	12/1,12/13	2	175
	35 メンゲレと私「ホロコースト証言シリーズ」3部作	12/3-12/15	10	1,232
	36 「見るまえに跳べ 日本の新進作家 vol.20」出品作家とゲストによる対談	12/23	1	64
	37 全日本写真連盟合同例会	12/24	1	150
	38 「見るまえに跳べ 日本の新進作家 vol.20」トークイベント	12/26	1	95
	39 「即興 ホンマタカシ」展 映像作品特集上映【追加上映】	1/6,7,16-21	8	869
	40 「見るまえに跳べ 日本の新進作家 vol.20」出品作家とゲストによる対談(星玄人、淵上裕太)	1/8	1	45
	41 「即興 ホンマタカシ」展 出品作家とゲストによる対談	1/20	1	190
	42 ヴィム・ヴェンダース『夢の涯てまでも ディレクターズカット 4Kレストア版』	2/20-3/1,3/20	10	320
	43 「記憶：リメンブラン スー 現代写真・映像の表現から」展 アーティスト・トーク	3/2	1	69

公益目的事業会計

(自主事業)

1 経常増減の部		
経常収益		
事業収益		127,692
入場料		39,584
参加料		494
協賛金		74,480
共催事業収益		6,808
出版物販売		6,326
受取助成金		3,000
受取民間助成金		3,000
受取負担金		80,000
受取東京都負担金		80,000
経常収益計		210,692
経常費用		
事業費		277,081
(パブリックプログラム)	11,231	
(スクールプログラム)	1,701	
(展覧会事業)	207,344	
(誘致企画展事業)	0	
(固定資産購入)	11,000	
(上映事業)	7,248	
(あ・ら・かるちゃん)	600	
(支援会員)	28,600	
(展覧会準備)	1,000	
(事業管理)	296	
(新たな日常対応事業)	4,240	
(新たな鑑賞体験事業)	3,821	
経常費用計		277,081
当期経常増減額		△ 66,389
他会計振替額		
収益事業等会計振替額(付帯事業)		1,778
当期正味財産増減額		△ 64,611
一般正味財産期首残高		0
一般正味財産期末残高		△ 64,611

(受託事業)

1 経常増減の部		
経常収益		
事業収益		68,954
入場料		39,000
施設使用料		22,840
物品販売手数料		7,114
受託収益		905,261
管理運営受託収益		905,261
雑収益		12,010
退職給付繰入額		11,340
雑収益		670
経常収益計		986,225
経常費用		
事業費		987,322
(美術館維持管理)	345,091	
(貸出施設の運営)	27,057	
(展覧会事業)	106,823	
(作品資料収集事業)	22,428	
(外部収蔵庫の運営)	62,716	
(収蔵作品の購入)	50,000	
(調査研究)	1,831	
(広報事業)	38,229	
(情報システム)	15,403	
(保存科学研究室)	3,316	
(図書室の運営)	14,742	
(事業人件費)	222,935	
(美術館管理運営)	42,125	
(展覧会準備)	2,014	
(退職給付)	11,340	
(スマート・カルチャー・プロジェクト情報基盤の段階的整備)	4,569	
(スマート・カルチャー・プロジェクト公開システム更新・データ拡充)	16,703	
経常費用計		987,322
当期経常増減額		△ 1,097
他会計振替額		
収益事業等会計振替額(受託事業)		0
当期正味財産増減額		△ 1,097
一般正味財産期首残高		0
一般正味財産期末残高		△ 1,097

収益事業等会計

(受託事業)

1 経常増減の部		
経常収益		
受託収益		2,210
管理運営受託収益		2,210
経常収益計		2,210
経常費用		
事業費		2,210
(事業人件費)	2,210	
経常費用計		2,210
当期経常増減額		0
他会計振替額		
公益目的事業会計振替額(受託事業)		0
当期正味財産増減額		0
一般正味財産期首残高		0
一般正味財産期末残高		0

(付帯事業)

1 経常増減の部		
経常収益		
事業収益		6,655
物品販売収益		132
管理手数料		4,735
画像使用手数料		220
撮影手数料		50
受取光熱水費		1,518
経常収益計		6,655
経常費用		
事業費		3,692
(ミュージアムショップ運営事業)	1,745	
(飲食施設運営事業)	1,536	
(事業管理)	411	
経常費用計		3,692
当期経常増減額		2,963
他会計振替額		
公益目的事業会計振替額		△ 2,500
当期正味財産増減額		463
法人税、住民税及び事業税		160
一般正味財産期首残高		0
一般正味財産期末残高		303

## ○東京都写真美術館条例

平成2年3月31日  
条例第20号

東京都写真美術館条例を公布する。  
東京都写真美術館条例

### (設置)

**第1条** 都民のための写真及びその他の映像（以下「写真等」という。）に関する文化の振興を図るため、東京都写真美術館（以下「館」という。）を東京都目黒区三田1丁目13番3号に設置する。

### (事業)

**第2条** 館は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 写真等の作品その他の写真等に関する資料（以下「作品等」という。）の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- 二 写真等に関する調査及び研究に関すること。
- 三 写真等に関する図書の収集、保管及び利用に関すること。
- 四 写真等に関する講演会、講習会等の主催、広報、出版等の普及活動に関すること。
- 五 館の施設の提供に関すること。
- 六 前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事業

### (休館日及び開館時間)

**第3条** 館の休館日及び開館時間は、東京都規則（以下「規則」という。）で定める。

### (作品等の特別閲覧)

**第4条** 館に所蔵されている作品等について、研究又は鑑賞のため、プリントスタディールームにおける閲覧（以下「特別閲覧」という。）をしようとする者は、規則に定めるところにより申請し、知事の承認を受けなければならない。

- 2 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の特別閲覧の承認をしないことができる。
- 一 館の秩序を乱すおそれがあると認められるとき。
  - 二 作品等の管理上支障があると認められるとき。
  - 三 館の管理上支障があると認められるとき。
  - 四 前3号に掲げる場合のほか、知事が不相当と認めるとき。

### (特別閲覧料)

**第5条** 前条第1項の規定により承認を受けた者は、別表第1に定める額の特別閲覧料を前納しなければならない。

### (使用の承認)

**第6条** 写真等に関する文化の振興に資する展覧会、講演会等を実施するために館の施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、規則に定めるところにより申請し、知事の承認を受けなければならない。

- 2 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の使用の承認をしないことができる。
- 一 館の秩序を乱すおそれがあると認められるとき。
  - 二 館の管理上支障があると認められるとき。
  - 三 申請に係る施設等を知事が必要と認める事業に使用するとき。
  - 四 前3号に掲げる場合のほか、知事が不相当と認めるとき。

### (利用料金)

**第7条** 前条第1項の承認を受けた者（以下「使用者」という。）及び収蔵展（館の収蔵作品を中心とする展示をいう。）を観覧しようとする者は、指定管理者（第16条第1項に規定する指定管理者をいう。以下この条から第九条までにおいて同じ。）に、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を前納しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

2 利用料金の額は、別表第2及び別表第3に定める額の範囲内において、あらかじめ知事の承認を得て、指定管理者が定める。

3 利用料金は、指定管理者の収入とする。

### (利用料金の減額又は免除)

**第8条** 指定管理者は、規則で定めるときその他指定管理者が特別の理由があると認めるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。

### (利用料金の不還付)

**第9条** 指定管理者は、既納の利用料金を還付しないものとする。ただし、指定管理者は、正当な理由があるときその他特に必要があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

### (使用権の譲渡等の禁止)

**第10条** 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

### (施設等の変更禁止)

**第11条** 使用者は、施設等に特別の設備をし、又は変更を加えてはならない。ただし、あらかじめ知事の承認を受けたときは、この限りでない。

### (使用承認の取消し等)

**第12条** 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用の承認を取り消し、使用を制限し、又は使用の停止を命ずることができる。

- 一 使用の目的に違反して使用したとき。
- 二 この条例に違反し、又は知事の指示に従わなかったとき。
- 三 善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- 四 災害その他の事故により館の使用ができなくなったとき。
- 五 工事その他の都合により、知事が特に必要と認めるとき。

### (原状回復の義務)

**第13条** 使用者は、使用を終了したときは、使用した施設等を直ちに原状に回復しなければならない。前条の規定により使用の承認を取り消され、又は使用の停止を命ぜられたときも、同様とする。

### (損害賠償の義務)

**第14条** 作品等又は館の施設若しくは設備に損害を与えた者は、その損害を賠償しなければならない。ただし、知事は、やむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

### (入館の制限等)

**第15条** 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- 一 他人に迷惑をかけ、又は作品等若しくは館の施設若しくは設備を損壊するおそれがあると認めるとき。
- 二 前号に掲げる場合のほか、館の管理上支障があると認めるとき。

## (指定管理者による管理)

**第16条** 知事は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であって知事が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に、館の管理運営に関する業務のうち、次に掲げるものを行わせることができる。

- 一 第2条各号に掲げる事業に関する業務
- 二 館の施設、設備及び物品の維持管理に関する業務
- 三 前2号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める業務

**2** 知事は、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- 一 第4条第1項の規定により、特別閲覧の承認をすること又は同条第2項の規定により、同項第1号から第3号までのいずれかに該当するとき、若しくは不適当と認めるときに、特別閲覧の承認をしないこと。
  - 二 第6条第1項の規定により、施設等の使用の承認をすること又は同条第2項の規定により、同項第1号若しくは第2号に該当するとき、施設等を必要と認める事業に使用するとき、その他使用を不適当と認めるときに、使用の承認をしないこと。
  - 三 第11条ただし書の規定により、施設等に特別の設備をし、又は変更を加えることについて承認をすること。
  - 四 第12条の規定により、同条第1号、第3号若しくは第4号に該当するとき、使用者がこの条例に違反し、若しくは指定管理者の指示に従わなかったとき、又は工事その他の都合により特に必要と認めるときに、使用の承認を取り消し、使用を制限し、又は使用の停止を命ずること。
  - 五 第15条の規定により、同条各号に該当すると認めて、入館を禁じ、又は退館を命ずること。
- 3** 前項第2号の業務を指定管理者が行う場合において、申請に係る施設等を知事が必要と認める事業に使用するときは、指定管理者は、使用の承認をしないことができる。

## (指定管理者の指定)

**第17条** 指定管理者としての指定を受けようとする者は、規則で定めるところにより、知事に申請しなければならない。

**2** 知事は、前項の規定による申請があったときは、次に掲げる基準により最も適切に館の管理運営を行うことができると認める者を指定管理者に指定するものとする。

- 一 前条第1項各号に掲げる業務について相当の知識及び経験を有する者を当該業務に従事させることができること。
- 二 安定的な経営基盤を有していること。
- 三 館の効用を最大限に発揮するとともに、効率的な管理運営ができること。
- 四 利用者のサービス向上を図ることができること。
- 五 関係法令及び条例の規定を遵守し、適正な管理運営ができること。
- 六 前各号に掲げるもののほか、規則で定める基準

**3** 知事は、前項の規定による指定をするときは、効率的な管理運営を考慮し、指定の期間を定めるものとする。

## (知事の調査及び指示)

**第18条** 知事は、館の管理運営の適正を期するため、指定管理者

に対して、当該管理運営の業務又は経理の状況に関し定期に、若しくは必要に応じて臨時に報告を求め、実地について調査し、又は必要な指示をすることができる。

## (指定管理者の指定の取消し等)

**第19条** 知事は、指定管理者が次の各号のいずれかに該当するときは、第17条第2項の規定による指定を取り消し、又は期間を定めて管理運営の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

- 一 管理運営の業務又は経理の状況に関する知事の指示に従わないとき。
- 二 第17条第2項各号に掲げる基準を満たさなくなると認めるとき。
- 三 第21条第1項各号に掲げる管理運営の基準を遵守しないとき。
- 四 前3号に掲げるもののほか、当該指定管理者による管理運営を継続することが適当でないとき。

**2** 前項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理運営の業務の全部若しくは一部(利用料金の収受を含む場合に限る。)の停止を命じた場合等で、知事が臨時に館の管理運営を行うときに限り、新たに指定管理者を指定し、又は当該停止の期間が終了するまでの間、知事は、別表第2又は別表第3に定める額の範囲内において、知事が定める使用料を徴収する。

**3** 前項の場合にあつては、第7条第1項、第8条及び第9条の規定を準用する。この場合において、第7条第1項中「指定管理者(第16条第1項に規定する指定管理者をいう。以下この条から第9条までにおいて同じ。)」とあるのは「知事」と、「その利用に係る料金(以下「利用料金」という。)」とあるのは「使用料」と、「指定管理者が」とあるのは「知事が」と、第8条及び第9条中「指定管理者」とあるのは「知事」と、「利用料金」とあるのは「使用料」と、別表第2及び別表第3中「利用料金」とあるのは「使用料」と読み替えるものとする。

## (指定管理者の公表)

**第20条** 知事は、指定管理者を指定し、若しくは指定を取り消したとき、又は期間を定めて管理運営の業務の全部若しくは一部の停止を命じたときは、遅滞なくその旨を告示するものとする。

## (管理運営の基準等)

**第21条** 指定管理者は、次に掲げる基準により、館の管理運営に関する業務を行わなければならない。

- 一 関係法令及び条例の規定を遵守し、適正な管理運営を行うこと。
- 二 都民の平等な利用を確保すること。
- 三 利用者に対して適切なサービスの提供を行うこと。
- 四 館の施設、設備及び物品の維持管理を適切に行うこと。
- 五 業務に関連して取得した利用者の個人に関する情報を適切に取り扱うこと。
- 六 前各号に掲げるもののほか、別途知事が定める管理運営に関する基準を満たすこと。

**2** 知事は、次に掲げる事項について、指定管理者と協定を締結するものとする。

- 一 前項各号に掲げる基準に関し必要な事項

- 二 業務の実施に関する事項
- 三 事業の実績報告に関する事項
- 四 前3号に掲げるもののほか、館の管理運営に関し必要な事項

(委任)

**第22条** この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

**附 則 (平成17年条例第27号)**

- 一 この条例は、公布の日から施行する。
- 二 この条例による改正前の東京都写真美術館条例第7条から第9条まで及び第16の規定は、平成18年9月1日(同日前にこの条例による改正後の東京都写真美術館条例第17条第2項の規定により指定管理者の指定をした場合にあつては、当該指定の日)までの間は、なおその効力を有する。

**附 則 (平成22年条例第34号)**

- 一 この条例は、平成22年4月1日から施行する。
- 二 この条例の施行の際、この条例による改正前の東京都写真美術館条例の規定により、既に使用の承認を受けている者の利用に係る料金については、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)

単位	特別閲覧料
1点1回	340円

別表第2(第7条、第19条関係)

区分		使用単位	利用料金
施設	地下1階展示室	全日	93,100円
	2階展示室	全日	79,690円
	3階展示室	全日	79,690円
	ホール	午前	17,520円
		午後	23,370円
		夜間	23,370円
		全日	58,430円
創作室		午前	6,030円
		午後	8,040円
		夜間	8,040円
		全日	20,120円
	ロビー、エントランスホールその他の施設(規則で定める施設又は部分を除く。)	1平方メートル全日	160円
附帯設備	ホール用同時通訳設備	1式1回	2,500円
	ホール用ビデオプロジェクター	1式1回	5,000円
	電源設備	1キロワット1回	120円

別表第三(第7条、第19条関係)

区分	利用料金(観覧)(1人1回につき)	
	個人	団体(20人以上)
一般	1,120円	890円
高齢者(65歳以上の者をいう。備考2において同じ。)及び生徒	560円	440円

## ○東京都写真美術館条例施行規則

平成2年5月25日  
規則第96号

東京都写真美術館条例施行規則を公布する。  
東京都写真美術館条例施行規則

### (休館日)

**第1条** 館の休館日は、次のとおりとする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

- 一 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日当たるときは、その翌日)
  - 二 1月1日から同月4日まで
  - 三 12月28日から同月31日まで
- 2 前項の規定にかかわらず、指定管理者(東京都写真美術館条例(平成2年東京都条例第20号。以下「条例」という。)第16条第1項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)は、利用者の利便の向上を図るため必要があり、かつ、同項ただし書の規定により知事が行う休館日の変更を待ついとまがないと認めるときは、同項に定める休館日に館を臨時に開館することができる。
- 3 指定管理者は、前項の規定により館を臨時に開館したときは、速やかに知事に報告しなければならない。

### (開館時間等)

**第2条** 館の開館時間及び入館時間は、別表のとおりとする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

- 2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、利用者の利便の向上を図るため必要があり、かつ、同項ただし書の規定により知事が行う開館時間及び入館時間の変更を待ついとまがないと認めるときは、館の開館時間及び入館時間を臨時に延長することができる。
- 3 指定管理者は、前項の規定により館の開館時間及び入館時間を臨時に延長したときは、速やかに知事に報告しなければならない。

### (特別閲覧の申請)

**第3条** 条例第4条第1項の規定により館に所蔵されている作品等の特別閲覧をしようとする者は、特別閲覧申請書(別記第1号様式)を知事に提出し、その承認を受けなければならない。

### (特別閲覧の承認)

- 第4条** 条例第4条第1項の規定により特別閲覧の承認をしたときは、知事は、特別閲覧承認書(別記第2号様式)を交付するものとする。
- 2 前項に規定する特別閲覧承認書は、特別閲覧をするときにこれを係員に提示しなければならない。

### (特別閲覧料の徴収)

- 第5条** 知事は、特別閲覧料を徴収するときは、館に掲示する方法により納入の通知をするものとする。
- 2 特別閲覧料の徴収については、指定管理者に委託することができる。

### (使用の申請等)

**第6条** 条例第6条第1項の規定により施設等を使用しようとする者

は、使用申請書(別記第3号様式)を使用月の前6月以内に知事に提出し、その承認を受けなければならない。

2 条例別表第2に規定する規則で定める施設又は部分とは、次に掲げるものをいう。

- 一 事務室
- 二 館長室
- 三 収蔵庫
- 四 機械室
- 五 中央監視室
- 六 書庫
- 七 前各号に掲げるもののほか、使用させることにより館の管理運営に支障が生じると知事が認めるもの。

### (使用の承認)

- 第7条** 前条第1項の規定により使用の承認をしたときは、知事は、使用承認書(別記第4号様式)を交付するものとする。
- 2 前項に規定する使用承認書は、施設等を使用するときにこれを係員に提示しなければならない。

### (利用料金の承認の申請)

- 第8条** 指定管理者は、条例第7条第2項に規定する利用料金の額を定めるときは、利用料金承認申請書(別記第5号様式)を知事に提出し、その承認を受けなければならない。
- 2 指定管理者は、前項の承認を受けたときは、当該承認に係る利用料金の額を周知しなければならない。

### (利用料金の減免)

- 第9条** 条例第8条の規定により利用料金を減額することができる場合及びその減額の割合又は免除することができる場合は、次に定めるとおりとする。
- 一 都内の小学校の児童及び中学校の生徒並びにこれらに準ずる者の引率者並びに都内の高等学校の生徒及びこれに準ずる者並びにこれらの引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。免除
  - 二 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)に規定する身体障害者手帳を提示する者及びその付添者が観覧するとき。免除
  - 三 都が発行する愛の手帳又は道府県が発行する療育手帳を提示する者及びその付添者が観覧するとき。免除
  - 四 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)に規定する精神障害者保健福祉手帳を提示する者及びその付添者が観覧するとき。免除
  - 五 高齢者(65歳以上の者をいう。)が観覧するとき(毎月第3水曜日に限る。)。免除
  - 六 都内に住所を有する者で18歳未満の子を同伴する者が観覧するとき(毎月第3土曜日及びその翌日に限る。)。5割
  - 七 若手芸術家として知事が別に定める芸術家の創造活動又は伝統文化活動を支援する事業で知事が指定する事業を実施するために施設等を使用するとき。免除
  - 八 都内の小学校、中学校及び高等学校並びにこれらに準ずるものが、児童又は生徒のための事業を実施するために施設等を使用するとき。5割
  - 九 官公署が施設等を使用するとき。2割5分

**(指定管理者の申請)**

**第10条** 条例第17条第1項の規定による申請は、指定管理者指定申請書(別記第6号様式)に次に掲げる書類を添付して行うものとする。

- 一 事業計画書
- 二 文化施設又はこれに類する施設の管理運営に関する業務実績を記載した書類
- 三 定款、寄附行為、規約又はこれらに類するもの
- 四 法人の登記事項証明書(法人の場合に限る。)
- 五 貸借対照表及び損益計算書又はこれらに類するもの
- 六 団体の組織、沿革その他事業の概要を記載した書類
- 七 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

**(指定管理者の指定の基準)**

**第11条** 条例第17条第2項第6号の規則で定める基準は、次に掲げるものとする。

- 一 都の文化施策及び文化施設運営の方針のっとり、都と密接に連携して管理運営を行うことができること。
- 二 文化施設又はこれに類する施設における良好な管理運営の実績を有すること。
- 三 文化施設の管理運営に係る技術及び能力の指導育成体制が整備されていること。
- 四 前3号に掲げるもののほか、館の適正な管理運営を行うために知事が定める基準

**(指定管理者に関する読替え)**

**第12条** 条例第16条の規定により指定管理者が館の管理運営に関する業務を行う場合についての第3条、第4条第1項、第5条第1項、第6条第1項及び第7条第1項の規定の適用については、これらの規定中「知事」とあるのは「指定管理者」とする。

**(臨時の館の管理運営に関する準用)**

**第13条** 第9条の規定は、条例第19条第2項の規定により知事が使用料を徴収する場合について準用する。この場合において、第9条中「利用料金」とあるのは「使用料」と読み替えるものとする。

**(委任)**

**第14条** この規則の施行について必要な事項は、東京都生活文化局長が定める。

**附 則 (平成17年規則第38号)**

- 一 この規則は、公布の日から施行する。
- 二 この規則による改正前の東京都写真美術館条例施行規則第1条第2項及び第3項、第2条第2項及び第3項、第3条、第5条、第6条第1項、第8条、第10条並びに別記第1号様式から第5号様式までの規定は、平成18年9月1日(同日前に東京都写真美術館条例の一部を改正する条例(平成17年東京都条例第27号)による改正後の東京都写真美術館条例(平成2年東京都条例第20号)第17条第2項の規定により指定管理者の指定をした場合にあつては、当該指定の日)までの間は、なおその効力を有する。

**附 則 (平成19年規則第149号)**

この規則は、公布の日から施行する。

**附 則 (平成20年規則第15号)**

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

**附 則 (平成22年規則第40号)**

- 一 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 二 この規則の施行の際、この規則による改正前の東京都写真美術館条例施行規則別記第3号様式及び第4号様式による用紙で、現に残存するものは、なお使用することができる。

**附 則 (平成22年規則第165号)**

この規則は、平成22年7月16日から施行する。

**附 則 (令和2年規則第130号)**

- 一 この規則は、公布の日から施行する。
- 二 この規則の施行の際、この規則による改正前の東京都写真美術館条例施行規則別記第2号様式から第4号様式による用紙で、現に残存するものは、所要の修正を加え、なお使用することができる。

**別表 (第2条関係)**

施設名	開館時間	入館時間
地下1階展示室 2階展示室 3階展示室	午前10時から午後6時まで。ただし、木曜日及び金曜日は、午前10時から午後8時まで	午前10時から午後5時30分まで。ただし、木曜日及び金曜日は、午前10時から午後7時30分まで
図書室 プリントスタディールーム	午前10時から午後6時まで	午前10時から午後5時30分まで

## 開館の経緯／組織図

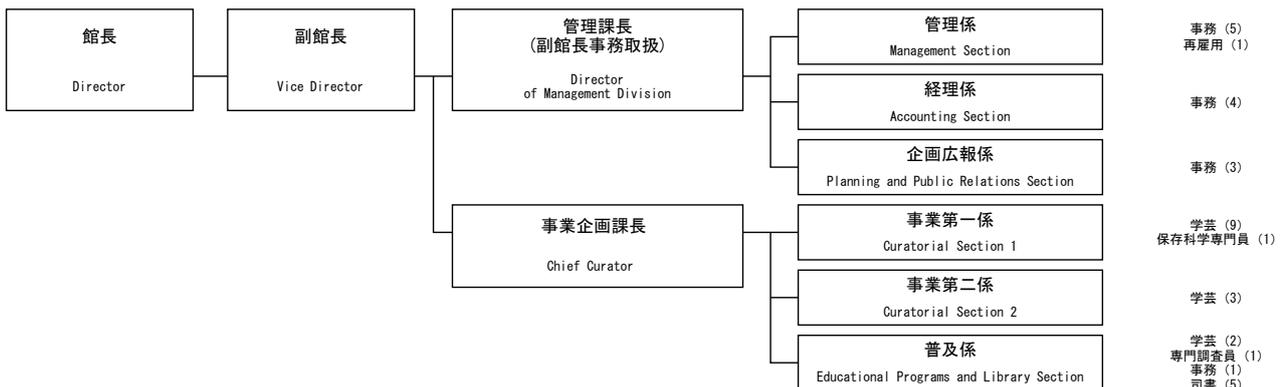
東京都写真美術館は、日本で初めての写真と映像に関する総合的な美術館として、1995（平成7）年1月に恵比寿ガーデンプレイス内に総合開館しました。日本における写真・映像文化の充実と発展を目的として、関係各方面の熱い期待に応えて、1990（平成2）年6月の第一次開館を経て誕生したものです。

1986（昭和61）年11月	第二次東京都長期計画で「写真文化施設の設置」を発表
1987（昭和62）年9月	東京都映像文化施設設置企画委員会設置
1988（昭和63）年7月	東京都映像文化施設作品資料収集・評価委員会設置
1989（平成元）年2月	「東京都映像文化施設（仮称）基本構想」（設置企画委員会報告）を発表
1989（平成元）年8月	東京都写真美術館設置企画委員会、同作品資料収集・評価委員会設置
1990（平成2）年6月	東京都写真美術館条例施行。東京都写真美術館一次施設開館
1991（平成3）年8月	「東京都写真美術館基本計画」を発表。東京都写真美術館総合施設の建設工事着手
1993（平成5）年7月	東京都写真美術館総合施設開設準備委員会設置
1994（平成6）年8月	東京都写真美術館の建物竣工
1995（平成7）年1月	東京都写真美術館総合開館（恵比寿ガーデンプレイス内）
2001（平成13）年	写真映像文化振興支援協議会設立
2005（平成17）年4月～10月	総合開館10周年コレクション展開催
2010（平成22）年	総合開館15周年
2011（平成23）年3月	総合開館以降の入館者が500万人達成
2013（平成25）年6月	総合開館以降の入館者が600万人達成
2014（平成26）年9月24日～	大規模改修工事のため全館休館
2015（平成27）年	総合開館20周年
2016（平成28）年9月3日	リニューアル・オープン
2017（平成29）年8月29日	総合開館以降の入館者が700万人達成
2020（令和2）年10月15日	総合開館以降の入館者が800万人達成

### 歴代館長

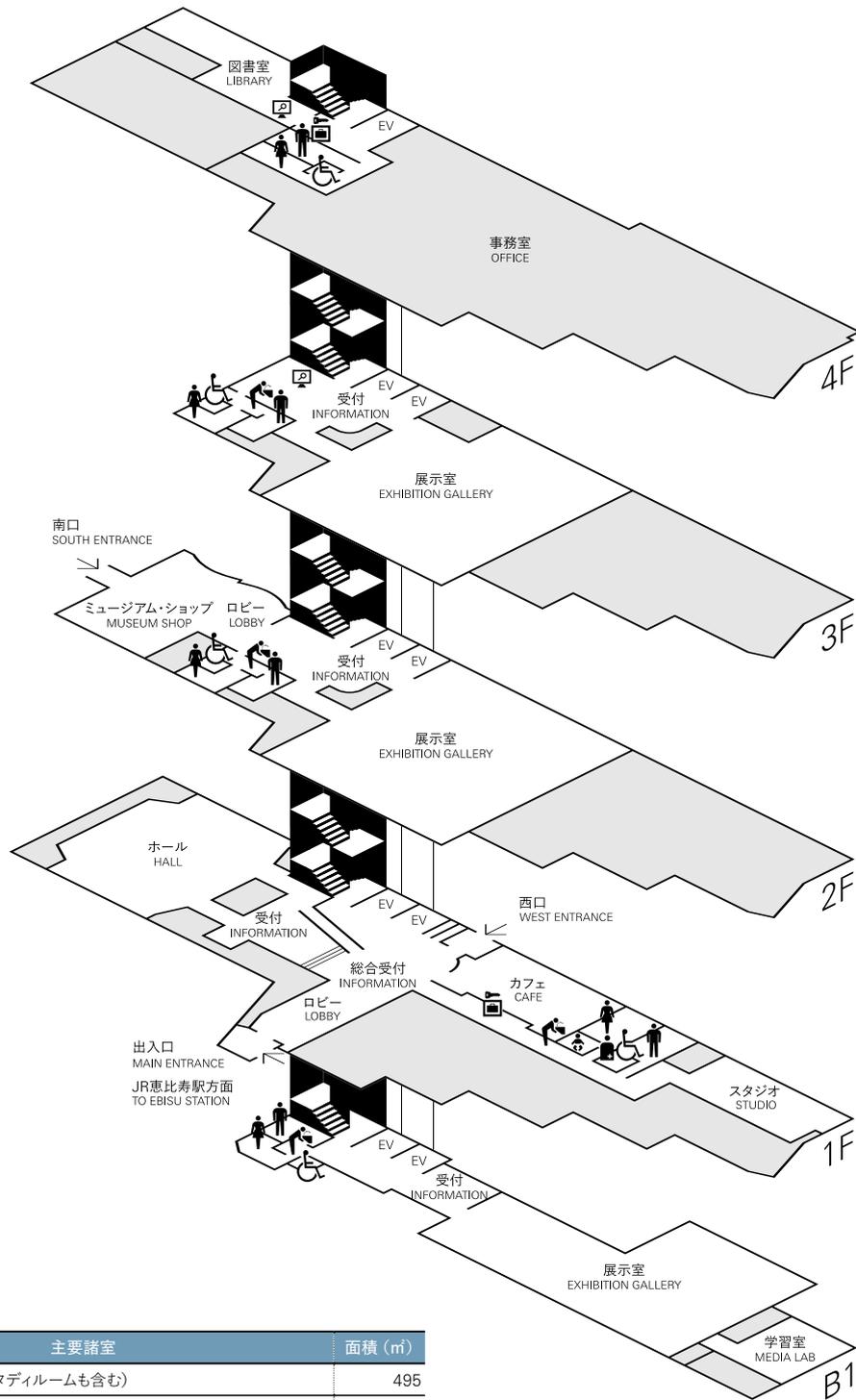
1990（平成2）年6月1日	初代館長に渡辺義雄就任（1995年3月31日まで）
1995（平成7）年4月1日	第2代館長に三木多聞就任（2000年3月31日まで）
2000（平成12）年4月1日	第3代館長に徳間康快就任（同年9月20日まで）
2000（平成12）年11月6日	第4代館長に福原義春就任（2016年3月31日まで）
	* 2016（平成28）年4月名誉館長就任
	2023（令和5）年8月30日逝去
	お別れの会の会場には写真美術館コーナーが設けられ、民間企業の戦略的経営の考え方や視点を取り入れた運営システムの構築など当館での活動を紹介いただきました。
2016（平成28）年4月1日	第5代館長に伊東信一郎就任

### [組織図]



\* 令和6年3月31日現在（ ）は、現員数

# フロアマップ



## [施設面積]

主要諸室	面積 (㎡)
3階展示室 (プリントスタディールームも含む)	495
2階展示室	495
地下1階展示室	469
ホール	286
4階図書室	121
4階書庫	207
第1収蔵庫	170
第2収蔵庫	176
特別収蔵庫	176
保存科学室	58
スタジオ (創作室)	97
学習室	75
ミュージアム・ショップ	58
カフェ	101
総面積	7,527

●建物概要

外部

- 外壁 大型陶板タイル 750口乾式工法  
花崗岩貼り(本磨き、ジェット&ポリッシュ仕上げ)
- 屋根 アスファルト断熱防水 コンクリート押え  
伸縮目地切り(一部陶板タイル貼り)  
ステンレス瓦棒葺き フッ素樹脂塗装
- 床 レンガタイル貼り 大型タイル貼り 花崗岩貼り

内部 (エントランスホール)

- 天井 岩面吸音板
- 壁 大理石・人工大理石・石膏ボード貼り
- 床 大理石貼り(水磨き仕上げ)

内部 (地下1階展示室)

- 天井 グリッド天井
- 壁 石膏ボード貼り
- 床 タイルカーペット貼り

内部 (2・3階展示室)

- 天井 グリッド+ルーパー天井
- 壁 石膏ボード貼り
- 床 ナラ材貼り

収蔵庫環境

東京都写真美術館における収蔵庫、展示室及び外部倉庫に  
温湿度計測システムを設置、24時間自動管理。

5°C・40±5%RH	発色現像方式フィルム、白黒フィルム等 フィルム全般、映像資料用フィルム類
10°C・50±5%RH	スクリーンプレート(オートクローム他)、 ダイ・トランスファー・プリント、銀色素 漂白方式印画、色素拡散転写方式印画、 発色現像方式印画等の染料を使用した 作品、ゼラチン乾板
20°C・50±5%RH	ダゲレオタイプ、カロタイプ、単塩紙、 プラチナタイプ、サイアノタイプ、アンブ ロタイプ、ティンタイプ、鶏卵紙、ゴム プリント、カーボンプリント、3色カー ボプリント、ウッドバリアタイプ、コロ タイプ印刷、フォトグラビア印刷等の顔料 を使用した作品、ゼラチン・シルバー・ プリント、書籍、映像作品、乾板
22(冬)、23(夏)°C ・50±5%RH	作品の額装等
22(冬)、24(夏)°C ・50±5%RH	展示作品

●設備概要

昇降機設備

- 1 荷物用エレベーター：1台  
ロープ式：3t  
内法：W2.8m×D4m×H3.15m
- 2 車いす兼乗用エレベーター：2台  
ロープ式：24人乗り(1.6t)
- 3 段差解消機設備：1台  
チェーン&スプロケット方式 定員：1名

電気設備

- 1 受変電圧：3相3線式 6,600V/50Hz  
変圧器容量：1,900kVA  
契約電力：従量制
- 2 自家発電設備  
始動方式：電気式  
冷却方式：自己空冷式  
燃料：特A重油1,950L  
運転時間：7.5時間
- 3 蓄電設備  
キュービクル式直流電源装置容量：200AH/10HR
- 4 動力設備
- 5 電灯、コンセント、照明設備
- 6 一般放送、非常用放送設備
- 7 電話設備
- 8 インターホン設備
- 9 テレビ共同視聴設備
- 10 自動火災報知設備
- 11 ITV監視装置
- 12 音響・映像装置

空調設備

- 1 地域冷暖房システムより供給：冷水 / 蒸気
- 2 熱源  
空冷ヒートポンプブラインモジュールチラー：2台  
空冷式スクロール型冷凍機：4台  
パッケージ型空調機：38台  
全熱交換器ユニット：16台
- 3 空気-水方式 冷媒方式
- 4 中央監視設備(一部個別制御)

衛生設備

- 1 多目的トイレ、男子/女子トイレ
- 2 加圧給水ポンプ方式(上水、雑用水)
- 3 消火設備
  - ・屋内消火栓
  - ・スプリンクラー消火(NSシステム)
  - ・ガス消火設備
  - ・消火器

## 利用案内

### ●開館時間

#### 展示室

10:00-18:00 (木・金曜は20:00まで)

※入館は閉館の30分前まで

#### 図書室

10:00-18:00

閉架資料の請求・コピーサービス 10:00-17:30

#### ホール

各上映やイベントによりスケジュールが異なります。

#### カフェ

10:00-18:00 (木・金は20:00まで)

#### ミュージアム・ショップ

10:00-18:00 (木・金は20:00まで)

### ●休館日

毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日休館)

年末年始および臨時休館日

### ●観覧料

展覧会・上映によって料金が異なります。

ホームページで各展覧会・上映の詳細をご確認いただくか、ある

いは、総合受付にお問い合わせください。

### ●スタジオ (創作室)

利用料:

午前 (9:00-12:00) 4,500円

午後 (13:00-17:00) 5,500円

夜間 (18:00-21:00) 5,500円

全日 (9:00-21:00) 14,000円

### ●特別観覧 (プリントスタディールーム)

日時 (予約制): 木曜日 13:00-18:00

料金: 作品等1点につき340円 (観覧当日払い)

### ●交通案内

JR恵比寿駅東口より「スカイウォーク」にて徒歩約7分  
(恵比寿ガーデンプレイス内)

東京メトロ日比谷線「恵比寿駅」1番出口より正面のJR駅ビル・アトレの上りエスカレーターを利用、そのまま駅ビル内を直進し、「スカイウォーク」にて徒歩約10分

東急目黒線、都営三田線「目黒駅」より徒歩約20分

恵比寿1丁目バス停、または恵比寿4丁目バス停より徒歩約7分 (田87)

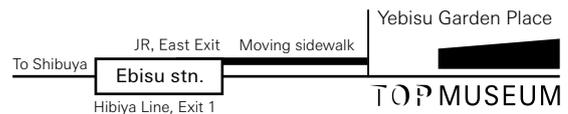
東京都写真美術館には専用の駐車場がございません。

お車でご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

### ●お問い合わせ

TEL: 03-3280-0099 (代表)

HP: [www.topmuseum.jp](http://www.topmuseum.jp)



## 東京都写真美術館年報2023-24（令和5年度）

発行日：令和6年5月

編集：東京都写真美術館

製作・印刷：株式会社公栄社

発行：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館  
〒153-0062

東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

電話：03-3280-0099（代表）





The image features a minimalist, abstract design. The background is primarily white, framed by large, dark green triangles in the corners. These green triangles are separated by thin, black diagonal lines that create a sense of depth and movement. The overall aesthetic is clean and modern.

# TOP MUSEUM